

会 議 録

会議の名称	第3回弥富市総合計画審議会
開催日時	令和5年3月27日(月) 午後1時30分～3時30分
開催場所	弥富市役所本庁舎3階 大会議室
出席者及び欠席者	出席者：藤井勉（会長）、入江容子（職務代理）、伊藤廣、鬼頭由美子、児玉日佐美、葛山裕司、伊藤善啓、八木輝治、東嶋とも子、手嶋正章、今井いずみ（順不同） 欠席者：伊藤肇章、佐藤博孝、南谷元尚、加藤祥二、奥村明彦、伊藤恵造、清水香菜、釜田公良、鈴木裕一（順不同） 事務局：市長、副市長、教育長、総務部長、市民生活部長、健康福祉部長、建設部長、教育部長、議会事務局長、総務部参事、企画政策課長、企画課政策課職員3名、棚ぎょうせい3名（順不同） 傍聴人：0名
会議内容	1 開 会 2 あいさつ 3 報告事項 （1）改正骨子案について 4 意見交換 5 その他 6 閉 会
会議資料	1 次第 2 資料1 第2次弥富市総合計画後期基本計画改正骨子案 3 「弥富市の未来像／やとみの未来の向けた「お約束」」 4 参考1 第2次弥富市総合計画後期基本計画（改正骨子案－施策ごとの検討課題の整理）

発言者	会議の経過（議題・発言内容等）
事務局（伊藤企画政策課長）	<p>1 開 会</p> <p>皆さん、こんにちは。</p> <p>先に御連絡のほうをさせていただきます。</p> <p>今回、傍聴人の方はおられませんでした。</p> <p>それでは、定刻となりましたので、ただいまより第3回弥富市総合計画審議会を開催させていただきます。</p> <p>本日司会を務めさせていただきます企画政策課の伊藤でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本審議会は、会議録作成のため録音させていただきますので、御了承をお願いいたします。</p> <p>続きまして、欠席委員の御連絡をいたします。</p> <p>本日は、委員名簿3番 伊藤肇章様、5番 佐藤博孝様、7番 南谷元尚様、8番 加藤祥二様、9番 奥村明彦様、12番 伊藤恵造様、13番 清水香菜様、16番 釜田公良様より御欠席の連絡をいただいております。</p> <p>ただし、定足数を満たしておりますことを申し添えさせていただきます。</p> <p>会議に入ります前に資料の確認をさせていただきます。</p> <p>本日、机の上に配席図、弥富市の未来像と書かれたA4用紙、委員名簿をお配りしておりますが、その他、先日郵送にて送付させていただきました資料はお持ちでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>本日の第3回審議会におきましては、次第にもございますが、改正骨子案について御報告をさせていただき、その後、今、お座りのグループにおいて委員の皆様で意見交換をしていただくこととしております。この意見交換を14時10分頃より始めたいと考えております。その後、各グループで出た意見を発表していただき、終了とさせていただきます。本日の会議は15時30分までとしておりますので、皆様の御協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、次第に基づきまして進行させていただきます。</p> <p>次第2、あいさつに移ります。</p> <p>初めに、安藤市長、よろしくお願いいたします。</p>
安藤市長	<p>2 あいさつ</p> <p>皆様、こんにちは。</p> <p>本日は、第3回の弥富市総合計画審議会を開催いたしましたところ、年度末の大変お忙しい中、御出席を賜りまして誠にありがとうございます。また、委員の皆様方におかれましては、日頃から弥富市政各般にわたりまして、御支援、御協力をいただいておりますこと、心より感謝を申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>今年は、桜も随分と早く咲き誇っているところでございます。先週の土曜日、弥富市におきましては、筏川沿いの桜並木のライトアップを始めたところでございまして、25日</p>

から4月9日までの2週間ということで始めたわけですが、ライトアップ当日が満開でございまして、どこまで桜が持ちこたえてくれるのかなと気になるところでございます。どうぞ、皆様方におかれましても、音と映像の幻想的な桜を御覧いただければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

さて、委員の皆様と後期基本計画策定の審議を現在進めているところでございますが、改めまして、第2次弥富市総合計画の愛称であります、「わたしとみんなの未来計画」について共有させていただきたいと思っております。

「わたしとみんなの未来計画」とは、行政だけではなく市民一人一人、弥富市の全ての人に当事者意識を持っていただくため、「わたしとみんなの」と表記し、「未来」という言葉には、将来に対する明るい前向きなイメージを込めて定めております。本市の特性や時代の潮流、市民ニーズの動向、市場課題等を勘案し、基本構想であります6つの基本目標を定め、それぞれの分野における施策目標の実現に向け計画的に推進することで、「地域でつくる「人・自然・文化」の調和 輝く未来へ繋ぐまち・弥富」という、本市の目指す将来像へとつながります。

本市の2040年の未来像であります、選ばれるオンリーワンの弥富市、デジタル社会と暮らしやすさの調和の取れた弥富市、みんなで創る弥富市につなげていくために、3月議会の施政方針の中で様々な事業について述べさせていただきましたが、新年度予算におきましては、駅周辺のまちづくり事業、スクールカウンセラー及び特別支援教育コンダクターの配置、中学入学お祝い金、デマンド型乗合サービスの実証実験、コンビニ交付事業などを計上させていただきました。また、飲食店等の新規出店や企業等を応援するため、新規事業者への支援制度を設計し、令和6年度から開始できるよう取り組んでまいります。

これから様々な事業を展開していくわけですが、市民の皆様が、人生100年時代において、お互いが支え合いながら地域で安心して暮らし、生涯にわたって輝き、活躍でき、次の時代を切り拓いていく人材を育成していく「わたしとみんなの未来計画」の策定を目指してまいります。

本日は、後期基本計画の骨子案をお示しさせていただいた後、2040年を見据えた5年後の弥富市について、皆様で意見交換を行っていただきたいと思っております。2時間という限られた時間ではございますが、どうか忌憚のない御意見を賜りますよう、また、御提言いただきますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局（伊藤企画政策課長）

ありがとうございました。

続きまして、藤井会長、御挨拶のほうをどうぞよろしくお願いいたします。

藤井会長

僭越ながら少しお時間を頂戴いたしまして挨拶をさせていただきます。

委員の皆様におかれましては、年度末のお忙しい中、御出席をいただきましてありがとうございます。そして、弥富市役所の事務局の皆様をはじめ、この審議会の御準備をいた

	<p>だきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>3月ということで、私もキャンパス近くの小学校の卒業式、それから私の子供自身も小学6年生で、卒業式、2つ出席をさせていただきました。子供の成長を目にするに当たり、改めて、子供たちが将来過ごす社会というものがよりよい社会であってほしいなと真に思った次第でございます。</p> <p>そして、この総合計画も、弥富市の未来を考えながらしっかりとつくっていくものだと思っております。</p> <p>本日は、改正骨子の報告ということで、これまで集めましたアンケート、それからワークショップ、前期の基本計画の評価、そして市長のマニフェスト、前回の審議会の委員の皆様御意見というものを踏まえて御報告ができるかなと思っております。</p> <p>その後、本日は、この形がいつもとは違うように、意見交換の場を設ける予定であります。意見交換をする意図といたしましては、そうそうたる委員の皆様御経験、御見識を改めて御助言いただきたいということが1つと、何より市長もおっしゃいましたように、この総合計画をみんなで作っていききたいという思いを持ってこのような意見交換の場をつくりたいと思っておりますので、いろいろな御意見を委員の皆様から頂戴できればと思っております。</p> <p>本日もどうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局（伊藤企画政策課長）</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、次第3の報告事項に移ります。</p> <p>ここからの進行につきましては、藤井会長の取り回しでお願いいたします。よろしくお願いいたします。</p>
<p>藤井会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、次第に沿いまして審議会のほうを進めさせていただきます。</p> <p>次第の3、報告事項に移ります。</p> <p>改正骨子案について事務局より説明をお願い申し上げます。</p>
<p>事務局（伊藤）</p>	<p>3 報告事項</p> <p>改正骨子案につきまして御説明させていただきます。</p> <p>着座にて失礼いたします。</p> <p>初めに、弥富市の未来像と記載のあるA4の用紙を御覧ください。本日、机の上に配付させていただいたものになります。</p> <p>こちらは、市長公約で掲げられた2040年の弥富市の将来像となります。市長挨拶でも触れさせていただいておりますが、本市といたしましても重要な視点となりますので、改めて簡単に御説明申し上げます。</p> <p>1つ目は、選び、選ばれるオンリーワンの弥富市です。</p> <p>自治体間の競争が避けられない中、選ばれるまちを目指すため、中心市街地の土地を有</p>

効活用しリニアインパクトの波に乗り、本市の強みである利便性の高い鉄道と高速道路の相乗効果を高め、魅力アップを目指していきます。

2つ目は、デジタル社会と暮らしやすさの調和の取れた弥富市です。

2040年は、AIやロボットと共に生きる便利なデジタル社会へと発展していくわけですが、全ての人が便利さの恩恵を享受できるよう、デジタル難民のないまちをつくっていきます。また、歴史や文化などを次の世代の人に引き継ぎ、個性豊かな本市の魅力をアップしていきます。

3つ目は、みんなで創る弥富市です。

人と人がつながり、お互いが支え合い、地域で安心して暮らし、住み続けることができる、人が主役となる便利で持続可能なまちを市民の皆さんと一緒に作り上げていきます。

これらの未来像を実現するため、来年度以降の事業等といたしまして、その下に記載のあります、土地改良事業、駅前周辺まちづくり事業、デマンド交通の社会実験、市民なんでも相談窓口、スクールカウンセラー、中学入学お祝い金、にぎわい創出という7項目に取り組んでまいります。

こちらの説明は以上となります。

続いて、改正骨子案の御説明に入ります。

はじめにお断りをさせていただきます。本日、皆様方に改正骨子案を御提示させていただきましたが、第3回審議会で委員の皆様にご意見交換を行っていただいた意見等を全てとはいきませんが、改正骨子案に反映させていただく予定であります。従いまして、今回は一つ一つの内容についての御説明は控えさせていただき、第4回審議会におきまして、本日を踏まえた改正骨子案についてお時間をとらせていただこうと考えております。御理解のほど、よろしくお願いいたします。

それでは、御説明いたします。

参考1の資料を御覧ください。

こちらは、改正骨子案を取りまとめるにあたり、今年度実施いたしました市民アンケートやワークショップ、前期計画の中間評価などの基礎資料を整理したのになります。表紙に概要といたしまして簡潔にまとめましたので、そちらで御説明いたします。

まず、市民アンケートですが、様々な質問項目のうち、市政への満足度と重要度について回答を得たものを相関させ、施策の優先度を導いた結果といたしまして最も優先すべき項目は、「道路、交通網の充実」、続いて「防災対策の推進」となりました。これらは、市民にとって重要度が高いと考えるものの、現状の満足度が比較的高くないというものになります。

続いて、市民ワークショップです。

こちらは、多岐にわたり様々な視点で意見が出た中、若者への災害に対する危機意識向上や保育所等での預かり時間の拡大、市民等への素早い情報発信など、市の目指す方向性がある程度同じであり、有効かつ実現の可能性のあるものを中心にまとめております。

続きまして、前期基本計画の中間評価まとめとなりますが、令和元年度から3年度まで

の3か年の施策評価結果及び成果指標達成度を点数化しましたところ、基本目標1の生活環境が最も高く、一方、基本目標3の教育・文化・スポーツが低い結果となりました。新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったわけですが、特にスポーツの振興、文化、芸術の振興において、達成度が低くなっております。

最後に、社会経済情勢の変化等を時代潮流として、主な事項について記載しております。

災害や人口減少、環境問題のほか、イノベーションによる経済構造の変革やリニア中央新幹線開業に伴う産業・観光・居住面での構造変化などがあります。

概要といたしましては以上となりますが、このほかにも市長マニフェストや審議会委員意見など様々な要素から改正骨子案ができておりますことを申し添えます。今回作成した改正骨子案は、策定方針にもございますが、新型コロナウイルス感染症の影響やデジタル化の進展をキーセンテンスとしつつ、市長公約の未来像を踏まえ、人口減少に歯止めをかけるとともに、まちのにぎわいを創出する取組を中心に整理いたしました。

次に、資料1、改正骨子案を御覧ください。

第2回審議会におきまして速報という形でお出ししましたアンケート及びワークショップの結果も、分析、整理の上、他の基礎調査と併せ、基本目標、施策目標単位で分類しております。

なお、「Ⅱ 主な意見等」は、先ほどのアンケートやワークショップ、市長公約、審議会委員から出された意見等を基本的にそのまま記載しております。それを隣の「Ⅲ 主な現状、課題、背景、要因等」の欄で整理し、その課題を解決するための方向性を右端に記載しております。

なお、この後期基本計画は、前期基本計画を基本的には引き継ぐものになりますので、ここに掲載のないものは前期計画の継続実施が基本となります。よって、「Ⅲ 主な現状、課題云々」という欄に▲のあるものにつきましては、既に現行計画に掲載があったり、既に取り組まれているなどの理由から、このたび改正としては整理しないと判断したのになります。

説明は以上となりますが、各分野において多くの御意見等が出され、このような形で改正骨子案を作成いたしました。冒頭申し上げましたように、本日の委員の皆様の意見交換で出された意見等を踏まえてまいりたいと考えております。

以上となります。

御説明、ありがとうございました。

ただいま事務局より御説明がありました改正骨子案について、この後、グループごとの意見の中でもいろいろ御意見をいただければと思いますが、現時点の説明において、御質問等がございましたら、委員の皆様、お願いいたします。

資料1につきましては、前期の施策目標ごとにアンケート、ワークショップ、それから審議会委員の皆様の御意見、そして市長の公約、そういったところを細かく全てまとめて整理をしているものがA3の資料になるかと思っております。そこから出てきたものを今まと

藤井会長

事務局（伊藤）	<p>めて御説明をいただいたかなと思っております。</p> <p>本来であれば一つ一つのところを細かく伺っていきたいところではありますが、本日のお時間の中ではなかなかそこまでお伺いする時間というところが出せないものですから、今概要としてお話をいただいて、この後、皆さんとの意見交換の中で、そこを踏まえて次回の審議会の中で改正骨子案を提示して、また、審議いただくような流れができるといいかなと思っております。</p> <p>皆様から御意見、御質問等はよろしかったでしょうか。この後の意見交換会の中でも御意見をいただければ、御質問等があれば、また、そこも踏まえてというふうに進められるといいかなと思っておりますので、次第の3の報告事項の改正骨子案については、以上とさせていただきます。</p> <p>それでは、続いて、次第の4の意見交換に移ってまいりたいと思います。</p> <p>事務局のほうから御説明をお願いいたします。</p> <p>4 意見交換</p> <p>失礼いたします。</p> <p>はじめに、委員の皆様方には、提出期限の短い中、グループ分け希望調査に御協力いただきまして、誠にありがとうございました。</p> <p>当初は、総合計画の基本目標6つを半分に分け、各グループで3つずつ扱っていただこうと思っておりましたが、基本目標4及び5の希望が多くございましたので、この2つの目標を両グループで扱っていただくことといたしました。</p> <p>藤井会長のみえるグループAでは、基本目標2、3、4、5を、入江委員のみえるグループBでは、基本目標1、4、5、6とさせていただきます。意見交換は、現行計画や改正骨子案を基に各分野における想いや2040年の弥富市を見据えた5年後の方向性をテーマに、60分間意見交換をしていただきます。ここでは、市長が所信表明で述べた3つの未来像を参考にさせていただきつつ、未来志向での意見交換ができればと考えております。</p> <p>2040年は、人口減少、高齢化の進行、南海トラフ地震、深刻化する気候変動、経済格差の拡大など暗い話が多いわけですが、市民が楽しいと感じられる未来を思い描いていただけると幸いです。</p> <p>意見交換が終わりましたら、各グループで出た意見を共有する時間をとらせていただきます。なお、取り回し及び意見共有の発表につきましては、藤井会長と入江委員にお願いしております。</p> <p>本日出された御意見は、市側で整理、担当課で確認し、改正骨子案を修正してまいります。そして、次回審議会において、修正後の改正骨子案を改めてお示しさせていただく予定であります。</p> <p>以上でございます。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、意見交換を始めていきたいと思いますので、グループBの皆様におかれまし</p>

ては、少しお手数ですがけれども席を御移動いただいて、グループの意見交換ができればと思います。声がお互いに聞きやすいふうにというところでの御移動ですがけれども、お手間を取らせています。

それでは、準備が整いましたので、グループでの意見交換に移っていきたいと思います。入江委員、よろしくお願いいたします。

【グループA】

改めまして、藤井でございます。

こちらのグループの進行は私のほうでさせていただきますので、ぜひいろいろな御意見を頂戴できればと思います。

今日の意見交換会ですがけれども、テーマとしましては、先ほどお話があったように、各分野における想いや2040年の弥富市を見据え、5年後の方向性をテーマとして御意見をいただきたいということでございます。将来を想像しながら御発言をいただくようなところをまとめてという感じでございます。

基本目標のこのグループにつきましては4つあるようでして、基本目標2、それから3、4、5という大きく4つの基本目標に分かれて意見を頂戴していきたいと思っておりますので、60分間という時間の中ですので、何となく1つの基本目標ごとには20分弱ぐらいの時間で意見交換をさせていただいて、次、次というふうに移っていけるといいのかなと思っております。

今後の審議会の中では、計画の詳細なところの議論というのはしていく予定でありますので、本日は将来を見据えての御議論ということで、少し想像しにくい部分があるかなと思いますので、例えばこんな御意見みたいなところを少し話させていただいて、順番に話ができればと思っております。

例えば、教育の問題では、教員、先生の多忙という課題が1つあるかなと思います。こういうことに対して、学校の先生御自身も家庭を大事にして、やはり公私共に充実した生活というものが望まれるかなと思います。そして、生徒と向き合う時間というものをしっかり確保して、生徒一人一人と向き合う時間が増えると、各生徒の個性を伸ばしながら指導ができていくのではないかなというようなことが言えるかなと思います。そういったことが、将来こうなるといいなというようなイメージとして考えていただけるといいのかなと思っております。

そのためにというときに、外部の部活動の指導員の先生がいらっしゃって、部活の時間というものを少し先生の手から離れていけると、そういった多忙の解消につながっていくというような形で御意見がいただけるといいのかなと思います。

あえてこの問題を、教員の多忙という問題を解消したイメージを共有するというのは、やはりこういうふうになったらいいな、なってほしいなというものを共有できれば、それ以外、ここに対してできること、やるべきことというものは、意見がたくさん出てくるの

藤井会長

	<p>ではないかなというふうに思っております。ですので、何となく将来こうなったらいいなを意見としてはいただきながら、どうしていこうかみたいなのが御議論できるといいのかなと思っております。</p> <p>とはいえ、たくさん皆さんには御発言いただきたいところが一番大事な趣旨の部分だと思っておりますので、率直に御発言をいただければありがたいと思っておりますので、思ったことをいろいろ御発言いただければと思っております。</p> <p>ここまでで、皆さんのほうで何か、この進め方における質問ですとか何か不安なところがあれば、お伺いしようかなと思っておりますが、よろしいですかね。</p>
伊藤廣委員	<p>先生、1つお願いがあるのですが、できればテーマを絞って、1つずつといったことで話させていただくと話しやすいのかなと。</p> <p>基本目標2から始めましょうとか、目標ごとですね。</p>
藤井会長	<p>そうですね。分かりました。</p> <p>この後、順番に基本目標2から話していきたいと思っておりますので、早速始めさせていただきますね。</p> <p>まずは、基本目標2というのが、前期の基本計画、総合計画でもありますように、健康・子育て・福祉で、笑顔溢れる健やかで共に支え合うまちということで基本目標2が掲げられております。これ一個一個説明していくと長くなってしまうので、キーワードとしてある項目をお伝えしますね。基本目標2ですと、子育てというところがあります。そして高齢化、そして健康、それから障害福祉サービス、そういったものがキーワードとしてはありまして、それぞれの施策が前期の中で掲げられているかなと思っております。</p> <p>改正骨子案の中で出てきている意見としてはこんなものがありますというところを少しお伝えさせていただくと、情報発信、知ってもらうために伝えるというところもありますし、高齢化の中では、生きがいとかフレイル、あるいは居場所というもの。そして、障害福祉サービスというところでは、ボランティアというような、幾つかキーワードを今出させていただきますけれども、この、まずはその内容の中で皆さんからの御意見が賜ればと思います。よろしいですか。お願いします。</p>
伊藤廣委員	<p>まず、子育て支援、育休と育休支援といったところが、もう少し充実を、今でも物すごくしっかりやっただいているとは思っているのですが、育休が取得しやすい環境づくりをどうするのかといったところも市町で取り組んだらいかがかなというところを考えます。</p> <p>そして、もう一つ、認可保育所が最近、あちらこちらに出っていますが、保育所の質をなるべくそろえていただけるようにしていただけると、より働きやすい環境が生まれるのかなと親たちがというところを今も考えられるところでは。</p> <p>私は以上です。</p>

藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>児玉委員、すみません。勝手ながら、振らせていただく場合もありますけど、すみません。</p>
児玉委員	<p>高齢者の各自治会などでカフェというか、自分たちで立ち上げていらっしゃるのがありますよね。それに乗かって、子育て支援として、春休み、夏休みのときに相談しやすい、皆さんが出かけられる体制を自治会のほうでつくっていただけると、子育てにもいいんじゃないかなと思うんですね。</p> <p>例えば、こども食堂、うち、やりかけているんですけど、うちだけでは、その地域だけしか発信できないものですから、もっともっと利用してもらおうと思えば、各自治会がこども食堂をつくらせていただく体制に持っていくともっともっといいんじゃないかなと思いますので、もし、そういうやられる方がいれば、私ども、伝授じゃないですけど、今あるノウハウを伝授しますので、手を挙げていただけるボランティアさんをもっともっとSNSで発信して人を集めて、人材育成につながるんじゃないかなと思います。</p> <p>その間に健康づくり、高齢者の運動をやって、こういうお話をして、子供はみんなで見てくださいよという体制をつくらせていくといいんじゃないかなというのを日頃思っていることなんですけど。</p> <p>あと、障害者さんに関しては、もうちょっと弥富市で暮らしやすいバリアフリー化、それをやられたほうがもっと人が集まるんじゃないかなと思います。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>高齢者の方のカフェでは、サロンみたいなものの中に子育てをされている皆さんも一緒に関わるといふ。</p>
児玉委員	<p>その中でこども食堂もやっていただけるとなおい。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>鬼頭委員、御発言いただいてもいいですか。お願いします。</p>
鬼頭委員	<p>児玉さんのように、いろんなものに私は先駆けていないから、まだ合同的なものはやっていないのでよく分からないんですけど。私の場合は、高齢者の方が身近に接点が多いですけど、子供さんという、私たちはおばあちゃんみたいな人が多いから、おばあちゃんみたいな人も、小さい子供とのつながりは要るかなとかというのは日頃思っていますけど、中間のお母さんたちにもやっぱり関わらないと、いきなりおばあちゃん子供ということはいけないので、学校もお忙しいとは思いますが、昔のようなああいう時間というのは、なかなか今の時代、お忙しい方が多いですよ。集まるといっても、大体同じような人が多いので、そこら辺は難しいわね。</p>

藤井会長	子供と高齢者という方は、その間にお母さんと高齢者の方がつながるようということですね。
鬼頭委員	やっぱりいきなりそんなわけにいかないもんね。結構、家族で動くというのはよく聞くんですけど、例えばサッカーだとか野球とか入っている子たちは、結構家族で移動するのをよく聞くので、家族で行くというのはすごく楽しいみたいですね。地域と交わるとき、それが欠けていることかなと思いますね。
藤井会長	こども食堂のような形でのきっかけができていくと。
鬼頭委員	こども食堂というのは意味が、どういう趣旨ですか。
児玉委員	こども食堂というのは居場所づくり。 だから、地域となじむとか。そこでいろんな話ができると思う。
鬼頭委員	私も、こども食堂というのも、いろんな情動的にあって、いろんな地域でやっているのは分かるんですけど、内容的なことがあまり私は理解していないので、どういう形でそういうのができたのか。 例えば、サロンなんかは、地域のお年寄り中心が多いですよ。サロンはサロンでいいんだけど、別物みたいな感じ。先ほど言ったように、しっかりとつながりがあったほうが。
児玉委員	それに、あそこの子供と、道端で擦れ違っても挨拶をしたりとか、不審者に見られるから、そういう顔見知りっていいかなと。
鬼頭委員	そうだね。言葉をかけるのも、知らない人から声をかけられたと。私もあるのね。おはようとかいうと、知らないおばちゃんがしゃべりかけてきた。そういうのは結構多いのね、今の時代。難しいですよ、言葉をかけるのもね。
児玉委員	そういう居場所づくりとかとって、顔をつないでおくといいかなと思いますよね。
鬼頭委員	なかなか1人が両手で、また、つないだ子が、また次というのは、そういうのが一番理想ですけどね。
藤井会長	多年代の人たちが知り合えて顔が分かり合える関係性というものが、高齢者のサロンだけではなくて子育ての世代につながっていくところが、将来を思ったときには大事なポイントなのかなと。
児玉委員	やっぱり新しくこちらへ、弥富市に他から移ってきた方というのは、どういうところな

	<p>んだらうと思うものだから、そういうところがあると、みんな、地域の人が集まっているから、顔見知りになるじゃないですか。そうすると溶け込みやすいかなと思うんですね。今、子ども会はないわ、女性の会、老人会、福寿会はなくなるわ、大変な時代になってきたなどというのは感じているんですけど。そういうので顔見知りをつくっていただいて、弥富市は住みやすいなと感じていただけると、なおいんじゃないでしょうか。</p>
藤井会長	<p>外から弥富市に来られた方も、御関係が持ちたくないわけではなくて、そのきっかけがなくて、なかなかそういうふうにつながれないということはあると思いますので。</p> <p>葛山委員、よろしくお願いします。</p>
葛山委員	<p>自分の体験からといいますか、次の教育にも絡むのかもしれないんですけども、私、趣味で手品、いわゆるマジック、これをやっていたことがありまして、これも本当に飲み会の一発芸から始めたんですけど、たまたま授業参観のときに子供の前でやったら、どかーんと受けまして、また、ぜひどこかでやってくださいよって学校で呼ばれて、そこから子ども会に行き、デイサービスさんですとか、そういうところで披露してみたりだとかって、呼ばれるものですからネタが増えていって、どんどんやっていくうちにトワイライトスクールでぜひ来てくださいということで。ですから、最初のうちは、割と土日を使ってずっとやっていたんですけども、トワイライトとなると平日午後みたいなパターンで定期的にやるというような形ができて。</p> <p>最初のうち、こういうボランティアって、個人で頑張ってるうちはそこそこモチベーションはあるんですけど、だんだんだんだん、それが定期的にやって回数が重なってくると、自分だけではある意味、職場の理解というんですか。そういうところ私は、幸いにして公務員ですから、ある程度、仕事の段取りを立ててうまく融通を立てると、職場の周りの理解も得られて、職場内でも披露していたものですから、また頑張ってる行ってきちゃっただいぐらいの感覚で送り出してもらえたんですけど。そんなようなことができたということで、割と市内の本当に特定の地区なんですけれども、そこでは結構、あると声をかけてもらえるくらい知名度も高くなったと。</p> <p>そういう意味では、一公務員にすぎない自分が、そういう、ちょっとでも参画できて、コミュニケーションに寄与できる機会があった。多分、潜在的にうちの職場だけでもたくさんいると思いますし、そこまでは思い切れないけれども。そういうの、いいね、自分も手伝ったらねと言ってくれる子もいて、実際にコラボしてやったりですとか。今度は別の高齢者のマジックをやられる方と一緒に別の施設に行ったりだとかというふうに結構つながるんですね。</p> <p>例えば、今ですとどうしても、そういうことができるのは時間的に限られた人が、意志の強い方が集まって、する人とされる人、割と多分、弥富市の中、職員の中でもそういうことを、スポーツができて、教えたいという方であったりですとか、いろんな技術を持った人、例えば、それが大道芸的なものであったりとかでもあったりするのかなと。場ができると後押しできるような、休みが取りやすかったりですとか、そういうところでの交通</p>

費がうまく出せるようなマッチングのシステムができると、いろいろ広がっていくのかなど。これは、福祉と子育てと教育のボランティア、そういったところにも絡んできて、1つシステムができるかなというふうに。すみません、脈絡のない話ですけど。できたらいいのかなと思います。

藤井会長

いえいえ、ありがとうございます。

まさに市民協働といいますか、皆さんが持っていらっしゃる専門的な知識とか技能みたいな部分を、やはり仕事をしている方からすると、時間を確保するという部分が、御家庭の理解と会社の理解というものの中で大事になってくるかなと思いますし、きっと、そういうやりたい方というか、やっていただける方というものは、地域の方には意外と多く多分いらっしゃるけれども、先ほどのコメントじゃないけど、きっかけがなかなかつかめないというところは大きいかなと思いますし、葛山委員のようにマジックから、いろんなところで披露されると、どんどん声がかかってくるというような展開になってくるのかなと思いますので、大事な視点だと思います。ありがとうございます。

八木委員も意見をもらっていいですか。

八木委員

僕も、僕の周りで起きているようなことなんですけど、先ほどもお話があったとおり、子ども食堂って僕もちょっと理解を勘違いしてしまっていて、何か大変なんだなというところで、そういう方が集まると思ったら、そうじゃないよと。

僕の知り合いで、弥富市ではないんですが、実はボランティアでやられている方がいて、隣の市町村だったので、弥富市でもやろうということで入ったときに、弥富市、実はやる場所がないっておっしゃっていました。ガスだとか、いろんな環境をお借りする場所がなかなかなくて許可も大変ですし、そういった場所の提供というのがやっぱり大事なのかなと。

個人で、市で、立ち上がるというのは大変なことだと思うんですが、先ほども児玉委員さんもすごいなと思ったんですけど。その子を見ていて、うちもお米、いろいろ提供はしているんですよ、そのために。その中で弥富市、確かにあるといいなと思いつつ、その方に聞くと、やっぱり大変だよということをおっしゃっていましたが、でも、そもそも場所がないということで、そういったことの何かうまく提供できる場をつくるといいんじゃないのかなと思いました。

あと、高齢者の生きがいという中で、これも僕のところで働いている方なんですけど、名古屋市の方で、70を超えているんですけど、特技が、もともと喫茶店を運営されていて、でも70を超えて、当然、コロナで閉めたんですけど、先ほどのお話のサロンじゃないですけど、自分の腕を振る舞う高齢者が集まる場所があって、それを食べてもらう、趣味を生かして喜んでもらう、利益はどうでもいいと。それが生きがいで、どうしてもそこに行きたいという70半ばぐらいの方が、独身の方で、そういった方がいて、そういう場所って生きがいになるんだなと。欲を言えば、空いた時間に1時間でも働きたいわという感覚でうちにお話が来たんですけど、全然構わないですよ。腕もあるし、やれる範囲だけやって

	<p>いただいて、もちろん交流が大事ですので、そちらを優先してくださいという方で、もしかしたら、市の中でも、そういった何か技術を持って振る舞いができる方で、それがみんなが喜んでもらえるという場があれば大変いいのかなと最近思いました。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p>
伊藤廣委員	<p>もう一点、いいですか。</p>
藤井会長	<p>どうぞ、お願いします。</p>
伊藤廣委員	<p>高齢者の支援というお話ですが、弥富市、非常に縦に長い。端っこのほうへ行くと、高齢者の楽しみができる、刺激があるといったところまで行くのに足が要る。そういった娯楽の部分だとか楽しい部分が郊外に広がってくださればいいんですが、どうしても現状、行かなきゃ仕方がないというようなことで、取り組みかけていただいているデマンド交通、そういったものが身近に、しかも安価に気軽にといったところで使わせていただくことができるのならば、より高齢者は楽しんだらうなというようなことを思います。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>車を運転するのが心配になられて免許を返納された後にどう移動手段を確保するかという部分は、委員がおっしゃるように、デマンド交通ですとか移動の確保というところは大事なポイントだなと思いますし、八木委員もおっしゃったように、やっぱり自分の技術、特技を生かしながら活躍できるというものが、場があればそういう方もたくさんいらっしゃるというところが、改めて葛山委員のお話にもあったとおりでなと思います。</p> <p>ありがとうございます。この話だけでももっともっと深めていきたい部分ではあるんですけど、順番にいろんな御意見を頂戴したいと思いますので。</p> <p>1個出た分、20分ぐらい話しても、本当はそういった充実した意見交換なんですけれど、次の基本目標の3に移らせていただきます。</p> <p>ぜひ、皆さんからも御意見をいただければと思うんですけど、基本目標3は、教育・文化・スポーツの領域になりまして、心豊かで文化を育む人づくりのまちとなります。キーワードは、計画にもありますように、一方は学校教育、学校の現場の教育というところで、そして、生涯学習という部分で、地域の皆さんが学校を出た後も学ぶ場をつくるという部分です。そして、スポーツ、文化ですね。子供たちのスポーツの環境もそうですし、文化的な活動といったところですね。青少年の健全育成というところが基本目標に関わるところになっています。</p> <p>改正骨子案の中でいろんな意見が出てきたものとしては、学校現場においては、やはりいつでも相談できる体制づくりですとか、学校現場、スポーツでは、部活動の地域移行というものがございます。あとは、愛知県でいくとアジアの競技大会が2026年にございますので、そういったところ、それから青少年の健全育成においては、やはりスマートフォ</p>

伊藤廣委員	<p>ンというところの関わり方というところが意見としてはあったかなと思っております。</p> <p>皆さんの生活の中での御経験、あるいはお仕事をされての御経験を含めて御意見を頂戴できればと思いますが、伊藤委員、お願いします。</p> <p>現状、南部と東部の小学校の統廃合、中学校の統廃合について、現況が見えてきたという状況であると思っているんですけども、これに対しては私は大賛成だと、もともと賛成なんだけど、早くやって欲しいと言っておるほうなんです。</p> <p>本題と外れちゃうかもしれませんが、学校を統合されると、地域社会のコミュニティをどう構築していくかというところが、ちょっと難しくなるなということを考えるんですね。今の私の立場ですと、地域のコミュニケーションといったところが主題となりますので、それからすると、ちょっと困ったなというところがあるものですから、そうしたことも1つ、合併の課題の中で、統合の課題の中でどう生かされていくのかなと、生かす方法を1つ考えていただけたらなということをおっしゃる次第です。</p> <p>それから、スポーツ振興。現状、南部のほうへ行くと、野球チームが2チーム、小中学生のチームが2チーム、全国レベルのときもありますよね。成績がいいときもあります。それから、サッカーに関しては、土日はサッカー場がいっぱいです。ですから、すごくいいなと思っておるんですけど、きちんとした競技ができる場所がないというのが、非常にもったいない使い方になっちゃうかもしれませんが、税金の、1つ何かあるとそこへ特化できるのかなというところは考える次第です。</p> <p>以上です。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>伊藤委員、ぜひ、統合によって学区の問題で、もう少し具体的なところで課題になるところをお話しいただければと思うんですが。</p>
伊藤廣委員	<p>今一番問題になるだろうなと思っておるのは盆踊り、それから運動会。今まで子供中心で子供さんに頼ってきた部分というのは非常に大きくあります。そのところがどう残るのかな、どうしていけるのかなというところですね。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>学校の数が減る中での統廃合については、学校の教育の現場としては望ましいことなのかなと思うんですが、一方で学校を中心としたコミュニティがある学区での関係性というのを、改めてどうやってつくっていくかというところを考えていかなきゃいけないというところの御提案かなと思います。ありがとうございます。</p> <p>もし、御意見があればといいますか、児玉委員、お願いできますか。私が当てなくても、ぜひ、全然自由闊達に御意見をいただければと思います。</p> <p>児玉委員、お願いします。</p>

<p>児玉委員</p>	<p>先ほど、統合したときにどんな問題が出てくるかなと言われたんですけど、人権のほうでSOSミニレターというのがあるんですね。それは、書いて送るやつですから、今の子供さんに適用されていないんですね。ほとんど少ないんです。だから、今はやっぱりネット時代で、自分はそのほうではやっていないんですけど、ネットというのがすごく多くなってきていますね。パソコンのほうに残るものですから、それも30分で切り上げられるんですけど、ネットが今後、子供たちに相談を受けやすくなっていくのかなという印象を持っています。</p> <p>あと、スポーツもそうなんですけど、やっぱり専門的にやっているところが弥富市では少ないような感じはします。あと、芸術のほうは、やっぱり音響が今の社会教育センター、ちょっと悪いような気が…。アーティストの人たちから見ればちょっと物足りないというのを聞いております。だから、そこら辺をもっと専門的にやるのであれば、もっと人が来るんじゃないかなと感じたものですから、言ったほうがいいかなと。</p>
<p>伊藤廣委員</p>	<p>よその箱よりは弥富市の箱は苦勞が多いです、演じるほうは。</p>
<p>児玉委員</p>	<p>最初の2番のほうに戻るんですけど、AEDが各コンビニにあるというのは珍しいので、弥富市は、それはいいところだなと。</p> <p>もっと市民が使えるように、教育をもっとやっていただくといいかなと思いました。</p>
<p>藤井会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>SOSミニレターというのは、困っていることを書いて渡すと、いろいろと相談が受けられるという仕組みですね。それが、子供たちが今、書くよりはスマートフォンですとか、そういったものからアクセスできたほうがやりやすいだろうということですよ。</p> <p>しっかりとした活動できる場が、文化もスポーツもあれば、より振興が進んでいくという意味で、特に骨子案の中で出てきましたけど、スポーツ、文化のところは、コロナの影響の中で停止せざるを得なかったという部分が大きな影響としてはあったかなと思いますので、それをどう復活といいますか、改めて進めていけるかというところは課題としてあるのかなと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>葛山委員、お願いします。</p>
<p>葛山委員</p>	<p>ずれる部分もあるんですけど、1つ前の生活環境の場、先ほど見ていて思い出したこと、この中で、弥富市というのはゼロメートル地帯だと、非常に災害時に危ない、だから、避難訓練というのが大事だということ、それも、やらなきゃいけないからやるんじゃなくて、楽しく防災スキルができる仕組みがあるといいよねというようなことを、今見た中で。</p> <p>以前、私、住んでいた東京の荒川区という場所なんですけれども、あそこも非常にゼロメートル地帯、隅田川が本当に3メートルぐらい上を流れているようなところ、すぐ裏の</p>

小学校に子供たちが通っていたと。その小学校のボランティア、先ほど言った、私、手品等を含めて参加していた中で、お父さんだけやる父の会みたいな、PTAとは別の会があるんですね。月に1回ぐらいそういったものに参加していたんですけども。

いろいろイベントをやる中で、防災をメインにした競技、防災オリンピック、そんなような名前だったと思うんですけど、ちょっとやってみよう。つまり、避難訓練的なものを競技に見立てて、例えば、堤防が決壊したよというものを皮切りに、みんなで屋上に行くまでのスピードを競うであったりだとか、いざというときに大事なものを確保するだとか、声をかけてみんなで集合するだとかという、そういう避難訓練をちょっとしたゲームとかスポーツに見立てて、その中で子供たちで、小学校の中でお父さんごとで競って、1日かけて運動会のような形に仕立てたという経験がかつてありましてですね。そう言われればそういうことをやったなど。本人は、スポーツとか防災かもしれないんですけども、結果的にそうやって生き残るための訓練みたいなやつをやりながら、楽しく競技仕立てにすると面白くて、いろいろフィードバックも得られるところかなということ。すみません、本当に今見ているの思いつきでの発言なんですけど、思い出したので発言させていただきました。

藤井会長

ありがとうございます。

この計画の中では、基本目標1のところ防災とか防犯という、まさにゼロメートル地帯で対策として考えなくちゃいけないというのが書かれる中で、どうみんなの楽しくといますか、防災に対する意識を醸成できるかという部分での、ゲームを交えながら、それが防災だけにかかわらず、恐らくコミュニティーですとか関係づくりというものにも発展していけるようなアイデアとかをいただいたのかなと思いました。

ありがとうございます。

八木委員、いいですか。

八木委員

先ほどから出ていたスポーツなんですけど、うちも子供がずっとスポーツをやっている、今もやっているんですが、弥富市で正直、弥富市といってもどちらかというと尾張地区でも、全国大会ができるような競技場やグラウンドはないんですね。これだけ交通のアクセスがいい、高速が2本走っていて大変便利なのに、わざわざ一宮市だとか岡崎だとか、意外とないんですね。

また、そういったことは、立派なものができる、そこで練習ができるという子供のモチベーションが物すごく上がるんですよ。いい球場で野球ができるとか、いいトラックで走れるとか、そういったところがすごい盛んになるんじゃないのかなと思って、予算とかいろいろ関係はあると思うんですが、全国レベルの大会ができるような施設があるというのは、すごくでかいのかなと。

岐阜の長良川競技場の周りなんかは、大会あるたびに周りのにぎわいがすごくて、飲食店から、いろんなものが満タンなんですよ。便乗もあるんですが、そういった活気も一緒になって取り戻せるんじゃないのかなというところで、ああいうスポーツって今、本

	<p>当、WBCもあったりワールドカップもあったり、ましてや今、バスケットボールも今はやっているという状況の中、今一番狙い目なんじゃないかなと。</p> <p>すごく残念に見ているのは、僕、走れないんですけど、愛知県マラソンも、もうちょっと頑張ればなと思っているんですけど。ああいうのもうまく活用しながら、いい場所があると、そこで練習したりとか何かあると、先ほどの伊藤委員じゃないけど、縦に長いので、弥富市は、走ろうと思ったらどれでも走れる。いい安全対策をすれば、練習もできると思いますので…。</p>
伊藤廣委員	<p>ハーフマラソンぐらいのコースができるといいですね。</p>
八木委員	<p>スポーツ、すごくもったいないなと思って、いつも遠征していたので、弥富市にあればなと思っています。</p>
伊藤廣委員	<p>田舎を使うと、意外と走れるんですけどね。</p>
八木委員	<p>そうですね。</p> <p>あとは、教育のほうなんですけど、当然そこに行く子供じゃなくて、教員の目から見てですけど、ちょっとこれは簡単にできるものか分からないですが、弥富市の子がせっかく例えば小中学校の教員になったときに、教員のルールが、新人の指導が、ちょっときつい。というのは何かというと、初めて教員になったときに、どんどん激化しているモンスターペアレンツじゃないですけど、やっぱり親の目というのはどんどん過保護になってきて、いろいろ追及すると。そこをかばってくれる先生方の仕組みがうまくできていないという感じがして、せっかく地元の子が地元でやっていきたいという子がいたんですが、結局その戦いで負けてしまって辞めた子がいまして、すごい地元のためにと考えていた子がもったいない。そもそも新人を守るためというか、教育するため、よくするための仕組みを弥富市としても考えないと、やっぱりもったいないなというふうに思っています。</p> <p>あと、部活動、確かにその時間、僕もPTAを弥富市でさせてもらったんですが、本当に先生方も夜中までやっていて、何時まで働いているのというところがいっぱいあって、確かに部活動は外部ですべきだと。いいグラウンドや競技場ができたりとか、いろんなことが活性化できれば、それも当然お金がかかる話なんですけど、意外と弥富市の子で、他県とか名古屋市とかへ出て野球とかサッカーで活躍している子がいっぱいいるんですよ。ましてや、今ダンスでもかなり有名な子がいるとか、そういう子がいるので、すごくもったいないなというところがいっぱいあって、もっと上げれば、もっと弥富市もボトムアップできて、いいチーム、やはり強いということで、また、それも人が来るというような形になればいいんじゃないのかなと思って、残念だなというところがすごくあるので、そういうのがうまく動いてくれれば大変いいと思います。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p>

	<p>本当に直近のWBCは感動して、日本全国から、優勝したからと、ああいう応援するという、ある意味、スポーツの価値という部分で、弥富の選手を応援するというを市民の方がするというのも、1つコミュニケーション、コミュニティーをつくるきっかけかなというふうに思いますし、そのためには、両委員もおっしゃったように、やっぱり環境をどう整えていくかという部分が大事かなと思いますし、そこには、いわゆるアスリートのスポーツだけではなくて、コミュニティーとしての生涯スポーツですとか、みんなが健康づくりのためのスポーツといったところも含めながら、あるいは観光の要素もあったりするかもしれないですし、人が来てくれるというところにもつながっていくのかなと思いました。</p>
八木委員	<p>垂れ幕が出ているんですけど、あの子たち、動画でも配信して、みんなに見てもらいたいんですよね。すごくもったいないですね。広報で回ってくるだけで、垂れ幕と、話をさせてあげて動画で発信すると、よりみんなが注目してくる。</p>
藤井会長	<p>同じ弥富市から出た選手というところの応援をしたいというところにつながるのかなと。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>鬼頭委員、いかがでしょうか。両委員の御意見から。</p>
鬼頭委員	<p>皆さんと同じような思いはありますが、何かというと予算がというのが一番に来るので、つぐんじやうところもあるんですけど、私。求めると、予算がどうしても要るものですね。いろいろ思いはあるんですけど、伝えても、そういうことがいっぱいあったんですけど。</p> <p>今、いろいろ聞いていたんですけど、宣伝というか、私は極力、広報やとみとか一生懸命見るように、新聞にしても。だけど、そういうものって見ている人は、どのぐらいちゃんと見ているかなというところが。だから、書面だけ出せばいいという感覚では、あまり見ていないというのが多いと思うんですね。</p> <p>だから、もう少しこっちからこうやってくださいとかいろいろ言うばかりじゃなくて、半強制は無理かも分からないけど、市のほうから半強制的に、行事でも負担がない行事ぐらいはどんどん地域の方に出てきてもらったりすると、こっちからお願いしないと、出前講座とか何にしてもお願いしないと来てくれないところがあるので、そうすると面倒くさいわってなっちゃうので。</p> <p>私たちの時代のときは半強制的に、嫌だなと思いつつもやってきた時代だったから分からないけど、少しは地域のほうに教えて出てきてくださるといいんじゃないかなと思うんです。こっちから、来るのを待っている、行かないという状況が多いかなと思ったの。それは、興味のある方はすごいいると思う。だけど、コロナが3年ぐらい続いたせいで、それが出なくなってもいいという、それが人としてあるので、それを取り除くために、少しずつでも出向く方向で、もう少し市のほうからも私は思っているんですけど、ほか</p>

藤井会長	<p>の人は面倒くさいと思っている。</p> <p>新たにどういふコミュニティとしての関係性をつくっていくかというところに、今までであれば当たり前のように地域であればつながっていたところというものも考えていけるのかなど。そういうヒントに、きっとスポーツですとか、葛山委員がおっしゃったマジックですとか、そういうものが、個々に持っている技術みたいなところができていくといいのかなと思います。</p>
鬼頭委員	<p>あと、例えば社会教育センターでも結構古いんですけど、でも、いろんなところに行きますでしょう。女性の会からいろんなところへ行くんですけど、結構大事な部分、トイレとか、生活では絶対必要な部分は結構きれいにしていくんですけど、弥富市、ちっともそこら辺が、そういう建物を建ててくれじゃないけど、そういう部分も少しほかの方が来たときに恥ずかしいなと思うところはありませんけど、一番大事な部分が行き届いていないような気がしますね、トイレとかね。今の時代、若い子も、やっぱり洋式的なものを求めることが多いので、洋式を少し増やしたりとか、そういうのもしてほしいなと思いますね。小さな意見ですけど。そうすると、芸能でも使おうかなってなるかなと思います。あそこでは使う気にならないかも分からない。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>そういう意味では、環境整備ということでの大切さと。あと、予算という部分は、この計画もそうですけれども、どこに重点を置いて進めていくかというところが、一方では大事なのかなと思いました。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>いろいろ話したいことがいっぱい出てくるんですが、すみません、次に移らせていただきます。</p> <p>基本目標の4が、産業・雇用というテーマになっております。人と地域の資源を生かしのぎわいを生み出すまちというところなんですけど、キーワードとしましては、水産業、商工業、弥富市ですと金魚の産業ですとか農業、そういったところ、それから観光に係る部分、そして産業に対しての雇用の対策というところがキーワードかなと思います。</p> <p>骨子案の中で出てきた意見、内容というものにおいては、農業の新規参入ですとか金魚の産業の後継者不足、あるいは企業スタートアップという部分と観光資源、あるいは高齢者の雇用拡大といったところが御意見としてはあるのかなと思います。</p> <p>伊藤委員からお願いしてもいいですか。</p>
伊藤廣委員	<p>私、農協の役員をやっておるものですから、しっかり話さないかなんと思っておるんですけど、なかなかしっかり話すことが難しい。実際のところを申し上げますと、やはり業種によって人口というか、やり手の増える減るといふのは極端な差ができています。ですから、できる産業、できる品目をしっかりやっていく。しっかり支えていただけるといい</p>

藤井会長	<p>なということが1点ございます。</p> <p>それと、もう1点は、今年退職された方の就農というのは結構多くて、グリーンセンターといって農協の施設であります。各スーパーさんでも産直をやっていただいているところもあります。そうした方々は非常に元気で、また、しっかりしていらっしゃるんで、そういったところに対するてこ入れに目を向けていただけたらなと思うところがございます。その部分については、少しずつでも増えている。ただ、問題はどうか、どう覚えていただくかといったところに少し困った点がございますので、そのところも少しお手伝いいただくと助かるかなといったところを考えます。そんなところですよ。</p> <p>どう教えるかって、どういった支援といいますか、どういうことが行われるという。</p>
伊藤廣委員	<p>農業塾をやっておるんです。一つ一つの品目について、いろいろ得意な人がみえるので、その人をお招きして覚えていただいているんですが、そういったことを家庭菜園とか、それから貸農園とかといったところもお手伝いいただくと、今後増えてくるんだろうと思うんです。</p> <p>あま市の農協では、貸農園に市とタイアップしていろいろ土地を集めて貸し出してみたり、そうした教育をやってみたりといったことも盛んに行われています。こちらの旧の海部郡の西のほうでは、そういった施設より、まだプロが多かったものですから、そういったことがまだ行われているのが非常に少ないんですが、十四山地区に一部あるというところですが、今後多分増えてくるんじゃないのかなと。</p> <p>それから、これから空き農地というのも増えてまいります。そういったところの利用も考えますと、やはりそういった方々の力をお借りして空き農地を減らしていくといったところも必要なことかなと考えますので、そういったところに目を向けていただくといいのかなと思います。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>新規就農ではなくて、貸農園からその農業に関わっていくというところの大切さですね。</p> <p>鬼頭委員、どうぞ。</p>
鬼頭委員	<p>その農法って、クローバーテレビか何かで見まして、空き農地で教えてという。これ、いいことだなと。</p>
伊藤廣委員	<p>いろんなところでやっていますね。</p>
鬼頭委員	<p>あと、私この間、あるファミリーレストランへ行って、後ろの若い女の子が2人でしゃべっていた話が、弥富って何にもないよねとかと言って聞こえたんです。1号線沿いなんか特に何もないよねとかと言って、そんな意見が聞こえたんです。これは、やっぱり若い</p>

子って、そういうものを求めているところ、スターバックスとか、あの辺はあるけど、あと、何もないよねとか言って。そういう本当にはっきりとした言葉を私は背中で聞いちゃって、これはやっぱり全国的に商店も衰退しているんですけど、お店があるというのは若い子たちはうれしいことなんだなと思ったんですね。商店も廃っちゃっているけど、何とかならないかなと。

私も実家が商売屋だったんですけど、昔の活気は求めないですけど、せっかく潰さずに今一生懸命頑張っているんで、お嫁さんが。だから、そういう支援というか、あんまり市から助成金をもらわないようにやったわとかって、そんなの、本当に困ったときは使ったけれども、私は、ある程度は頑張ったって、お嫁さん、言っていましたので。何かそういうことがあると、頑張りたいなという人もいると思うんです。だから、お嫁さん、頑張ってくれておるって私は安心したところがありますが、もう少し1号線のところも、何かにぎやかさが無いというのははっきり聞いたので、そこを弥富が第一に頑張ってもいいかなと。

だから、何でも新しいものをつくるというのは大変ですけど、そういう、先ほどの農地でも一緒ですけど、そういうのをを使って発展させる方法をやっていくといいんじゃないかなと思います。私たちも、おばあちゃんですけど、何かあったらきっと頑張って、こども食堂じゃないけど、行こうかなと思う人もいっぱいいるかも分からないので、そういうのを宣伝、もう少し分かりやすい方法でそういう情報をしてくれると、分からないと思ったのね、多分。協力できる体制はつくっておかなきゃいけないけど、行ける場所をと思っています。

以上です。

藤井会長

一方できっと、弥富に住んでいる方が気づかない弥富の魅力というものもたくさんあると思いますので、そういう意味では、金魚もそうかもしれないですし、そういったものを改めて見直すというものが産業、農業とかというところだったりもするでしょうし、新しく、先ほど言ったようなスポーツですとかコミュニティーづくりという中でにぎわいをつくるということも考えられるのかなと思いました。

ありがとうございます。

八木委員、お願いできますか。

八木委員

ここに書いてある4-2の商工業ですが、まさにこのとおりで、何か弥富市の農業者とか商工業者は、縦割りで、横串がないんですね。各々がいろんなことを考えてやったりするし、農業は農業、商業は商業でやるんですが、やっぱり横串がないと1つにならないのかなと。農業だけで頑張っていこうとか、あれだけで頑張っていこうといったって、1本では活性化できないなと思うんですね。年代はいろいろあるとは思いますが、商工会さんもあればいろいろあるんですけど、横串を刺して1つになって、市として市の中で何か面白いことができないかとか。本当に令和6年から50万を出すって、相当すごいなと思って、お金を出してくれるんだみたいな、こういうのを全国的にアピールしたほうが、愛知

	<p>県だけじゃなくて全国に出して、ここでやりたいわという人を募ったほうが、ものすごくこれはありがたいんじゃないかなと思いました。</p> <p>あと、僕は稲作をやっているんですけど、稲作って今、本当にデジタル化、D Xが流行っていて、何なら無人のトラクターだとか無人のコンバインなんていうのを今やっている状態で、弥富市も南のほうに行けば稲作が盛んなんです。ただ、早場米ということで有名なんですけど、それだけで、本当にそこで生きていけるかというと、人の農地で僕たちは生きているので、やっぱり農地がなくなれば生きていけないというところで、それがコストにもいろいろ反映してきて、コストを削減しようという中で、I C Tを活用って国が言っている割には、整備がゼロなんですね。</p> <p>僕たちも今、一応G P Sを使った機械を使って、いろんな精度を高めているんですけど、それに伴う施設がなくて、本当は県レベルになっていくんですけど、もし、市のほうでも今、R T Kというリアルタイムキネマティックみたいな名前前で基地局があるんです。それをやることによって、僕たちが、G P Sがついている機械を買うと、その基地局から電波を発信してG P Sが使える。今は上空から来たやつを、自分たちで基地局をつくって、それを持ち運びながらやっているんですね。それがすごく大変なんです。そういうことがなくなると、弥富市の稲作ももっと活性化できて、ここに来るとそれが要らないから、すごい便利だねと、G P Sの機械をどんどん使って、じゃ、どんどん活性化していこうねというようなところで、コストが下がれば、お米も安く提供できたり、弥富市の人間には特例で出せるとか、そういった市の人間だけに潤うような仕組みも最終的になれば面白いのかなと思っていて。</p> <p>お金はすごくかかるみたいなんですけど、当然無料で使うわけではなくて、市が建てれば、年間幾らって利用料を出して、その基地局からの発信の電波を使えば大変助かると思いますので、この辺りでは一宮だとか、メーカーさんが出しているみたいな感じを聞くんですけど、市として本当に先の農業を見据えるのであれば、デジタル化というのであれば、G P Sを使ったそういう電波の発信は、ぜひ設備していただけると僕たちは大変助かります。</p>
伊藤廣委員	水田の面積を広げることができるんです。
八木委員	そうですね。
伊藤廣委員	きれいにさせますので。
八木委員	どんどん大きくできますので。
伊藤廣委員	その分、コストの軽減も物すごくよく分かります。アメリカ並みのところが、十四山地区と、それと弥富市の南部では簡単にできるような気がします。

八木委員	それさえあれば大きくできますので。
藤井会長	<p>市長の公約の中、デジタル化というところが、人手不足ですとか後継者不足の中でも、しっかりとテクノロジーを使いながらそういうことが満たしていけると、農業の部分での活性化というところはなし得ていくのかなと、お話を聞いて思いました。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>葛山委員、御意見いかがですか。</p>
葛山委員	<p>産業という部分で、私ども名古屋港を管理しております組織からお話しさせていただきますと、弥富市、名古屋港の西部というのは、非常に物流に特化したポテンシャルの高い地域、日本の中でも、本当に面積当たりの取扱量でいけばトップクラスのコンテナターミナルを有しております、コンテナというのは、本当に物流に革命を起こした貴重な物流の仕組みでございまして、ああいう大きいトラックがバンバン走るといのは、イメージ的には悪いんですけど、今は昔の労働集約型ではなくてシステムチックに、しかも、最近ですと、そこにいかにコストをかけないか、エネルギーをかけないかということで、電動化であったりですとか、そういったことも、先進的に行われているコンテナターミナルがあり、もう一つは、高速道路が通っているということで立地の、非常にアクセスも優れているという中で、コンテナの貨物量の取扱いというのは、コロナ禍であっても増えているという状況でございます。</p> <p>そうした中で、物流というのは、とにかく遠くから集めてくるという側面もありつつ、やはり近くに集約する物流センターというのも非常にニーズが高く、私ども名古屋港ではたくさん立地しているんですけども、なかなか最近、昨今では埋立地というのも、環境問題を考えて、どんどん土地を造成して、それを売って、名古屋港、もともとそうやって広がってきたんですけども、なかなか簡単に埋められない状況も出てきた中で、そういった企業のニーズというのは非常に高い。</p> <p>先ほどから、どうしても何かをやろうとするとお金かかるよね、予算が、というところがある中で、その予算を増やすという意味からは、企業の誘致、企業の集積を図るということも一つの解決法かなという中で、たまたま弥富市というのは南北に長くて、人が住んでいる北部のほうと工業が強い臨海部というふうな、離れている中で、ある意味そういう工業と産業と住環境が分けられるという環境の中で、もう少し南のほうにも、そういう産業誘致が図られると、結果的には、まず、それで税収としても増える。さらには雇用としても増える。人が増えることによって、いろいろと商業施設の立地の可能性、ポテンシャルもさらに増えるというようなこと、循環ができるのかなというふうに思っております。</p> <p>一方で、そういう工業、産業が増えていく上で1つ、今度は逆に長過ぎるという問題の中で、名古屋の東側の知多、東海のほうですと、背後に名鉄が走っているという関係もあって、通勤は割と便利だと。大きい工場、大きい物流倉庫が建った場合であっても、割と通勤には不便しないということを知りながら、一方で、西部はどうしても、若干住環境から遠いということも聞きますので、そういった方が住めるような環境というのも併せて整うと、あ</p>

<p>藤井会長</p>	<p>る意味、人口の増加であったりですとか、そういったところに寄与するのかなと。前回は発言させていただいたんですけども、産業と雇用というところは、まだまだポテンシャルがあって、どんどん増やせるかなというふうに思っておりますので、そういう意味では、港湾と都市側がうまく連携ができるといいのかなというふうに思っております。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>まさに南と北では、弥富市の特徴という部分で、南に工業集積があるけど、物流の拠点としてもポテンシャルが高いという部分は、今後考えていくべき、大事ななと思いました。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>すみません、お時間もありますので、最後の基本目標5番のところの御意見を伺って、このグループの意見交換は終了できればと思っておりますが、基本目標の5は、都市基盤というところになってきます。良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまちという部分で、キーワードとしましては、上下水道、そして道路、交通、治水、市街地、公園、港湾地域の整備というところになります。骨子案の中では、駅前の整備事業ですとか、先ほども御意見が出ましたけれども交通弱者、そして、今、葛山委員からも御意見がありました、優良企業の誘致といったところが骨子案の中の御意見としてはあったかなというふうに思います。</p> <p>伊藤委員から、いいですか。</p>
<p>伊藤廣委員</p>	<p>下水道という話を、現状、今、日光川下流下水の施工が、ほぼほぼ終了に近づいてきたといった中で、全体の弥富の供用率が30%程度というところがあるという現状と伺っています。何とか供用率を上げるようにコマーシャルをしていただけないのかなと。</p> <p>やはりまちが年を取ってきますと、夫婦でしか住んでいない。そんな夫婦2人で住んでいるのに水道代金だけ上がってどうするんだという、そんなようなお話もあるようでございますので、そのところに少し目を向けていただいて、供用率を上げて値段を下げていただくといったところを特に力を入れていただけたらありがたいなというところが1点。いつも、毎年、私、10月か11月に現場の下水道の浄化センターに行って、レクチャーを受けるんですけども、その中で、そういったことで、もうちょっと早く進行できないのかというところをお願いしているところです。</p> <p>それから、道路につきましては、道路のすみ分けが、港部分の急激な発展に伴って、うまくできていないところがあるので、道路のすみ分けをよくするために、西尾張中央道の充実であったり、それから、今やっただいております155号線、南から造ってもらっておるんですが、早期開業というか、供用をお願いしないと、せっかく市が自慢の背骨である中央幹線道路もがたがたです。それは、大型トレーラーが通るようには考えてなかったわけでありますから、そのところにおおむねかかるんだろうなと思うと、やはり道路のすみ分けというところで、早く太いラインを、縦のラインを造っていただけたらなと考える次第です。</p>

藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>下水道と道路の整備の問題というところで、ワークショップの中でも下水道のお話は、割と盛んにされていたかなと思いますけれども。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>順番に鬼頭委員、お願いしてもいいですか。</p>
鬼頭委員	<p>高齢化になってきて免許証を返す人が多くなって、いろんな部分で重複するんですけど、やっぱりお出かけしやすい環境というか、交通の便が悪いのは、名古屋市と比べれば、それはしょうがない話ですけど、やっぱりきんちゃんバスでも活用を、個人が意見を言えば、私のうちの前がいいわとか言っちゃうと思うんですけど、もう少し何か違う、そういう足がやっぱり必要だと思うんです。発展できる場所もあれば、しょうがない話なんですけど、もう少し名古屋競馬場も行きたいわという人もいます。いるんだけど、どこにバスが止まるとか、いろいろそういう話も出たりするんです。せっかくそういうところができても、行ける状況がないというのは、そこら辺がもったいない気がする。蟹江からは出ているみたいですけど、なぜ、弥富はないのという意見もあったりする。そういうのもあったりするので、せっかくできたものに、行きたいわというふう、行きたいわで終わってしまう。</p>
伊藤廣委員	<p>きんちゃんバスの本数が少ないですね。</p>
鬼頭委員	<p>そういう、難しいとは思うんです、縦長だから。これからは多分、免許を返したりする人が多いから、そういうのをたくさん便利にしておいてほしいなと思います。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>先ほどもおっしゃったように、本当に交通の便が、高齢化の中でどういうふうに移動の手段が確保できるかというところの大切さと、せっかく行きたい場所があるのに、そこに行くためのアクセスという部分での大切さがあるんだなと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>児玉委員、お願いします。</p>
児玉委員	<p>先ほど、バスとか、高齢者になったら移動手段とか、いろいろ言われていたんですけど、今すごい感じているのは、西尾張中央道は時間帯によらずすごい渋滞なんですね、上りも下りも。だから、そこを解消するには、早急に道路の拡充、拡大をしないと。要するに、住まいがみんな密集してきちゃうので、その前に確保しないと、どんどん土地が改修されちゃって、大変になってくるものだから。それに伴って、バイクが通る道路、それから自転車、歩行者というのを、とにかく拡大して造っていただかないと、今の渋滞も解消できないし、もっと都市化すると大変なことになるので、大きい道路は早く土地の確保をされ</p>

	<p>たほうがいいんじゃないかなと常々思っているんですけど。</p> <p>あと、住環境でよく相談にみえるのが、高齢者の、我々が亡くなったら、息子も娘も、その家は要らないと、どうしたらいいんだという相談が最近、来られる人がいるものですから、なるべくなら、その前に自分たちがどうしたらいいかというのを、終活じゃないですけど、それをやっていただきたいなと思いました。専門じゃないものだから、相談されても、娘さんと息子さんが要らないと言ったら、あとはどうされますと言うしかないものですから、いや、こういうところへ行ってくださいとか、弁護士さんに相談してくださいとかになっちゃうんですけど、そういう相談が出てきたということと、あと、多分駅が今度新しくなるんですね。それは、誰が反対しようと決まっているんですよ。だから、もっと広報じゃないですけど、もっとこういう駅ができますよって、皆さん、賛成してくださいよというアピールをしたほうがいいんじゃないかなと私は思ったんですけど。</p>
伊藤廣委員	<p>魅力の発信ですよ。</p>
児玉委員	<p>反対、反対と言っても前には進まないのだから、決まっちゃって。青函面が引かれているんですよ。私は分からないんですけど。</p>
鬼頭委員	<p>進んでいないもんね。</p>
児玉委員	<p>引かれているのだから、とにかくそれに伴う周り、今度、周りですよ。それをどうしたらいいかということを考えていったほうがいいんじゃないかなと思いました。</p> <p>あと、物流は、高速道路もあり鉄道もあり、そういうところが弥富市として利点ですよ。だから、東京、大阪の中間地点ですよ、名古屋市が。物流の働き方改革で、その人たちが休憩する場所、泊まれる場所、イベントとか楽しむことを弥富市がやればもっと活性化するのではないかな。名古屋市よりは安く泊まれる。弥富市の住人だったら、これだけの料金で親戚の方たちは泊まれますよとか。そういうホテルとかの宿泊施設、遊び場、それからいろんなゲームじゃないけど、スポーツしたりとか、そういうのをどんどんやれば、もっと活性化するんじゃないかなという私の意見です。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p>
鬼頭委員	<p>今、通過だもんね。通過していっちゃうもんね、弥富は。</p>
藤井会長	<p>高齢化に伴う空き家の問題もそうですし、駅前の整備事業については、もう少しいろいろな発信をしながら、弥富市の方が扱いやすくとか使えるようにという部分でPRしていったほうがいいんじゃないかという御意見でした。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>葛山委員、お願いできますか。</p>

葛山委員	<p>道路、交通網というところからいきますと今、児玉委員、まさに本当になるほどなという発想がございます。今、トラックドライバーの人の働き方改革という中で、長距離ドライバーが不足すると同時に、やはり長時間労働に対するいろいろ対応を求められている中、そういう意味からいきますと、特に我が弥富、この辺りというのは、1つ土地がある一方で、皆さん、農業をやられている方に見れば大事な土地かもしれないですけど、そういう潜在的なポテンシャルがありつつ、また、近くには木曾岬というようなところもございますので、そういうところをうまく使って、いろいろと活動、可能性はあるのかなということを感じます。</p> <p>それと、もう1つ、我々として今、非常に気にしております、仕事の中でも対応を図られているのは、治水対策というところで、気候変動というのが、今、これも避けて通れない。どうしても気温上昇というものが起こってくるとなると、それに伴って海面の水位の上昇というのも必然的に行ってくる。気候変動で気温が上がってくると、台風というものも巨大化してくる。台風が大きくなると、気圧が低くなる、風速も大きくなるということで、今まで以上に風水害というものに対する対応というものが求められることがある。</p> <p>これに対して、全てをいわゆる防潮堤、防波堤で守ろうとすると、非常に非現実的な費用も時間もかかってくるという中で、ある程度はソフト対応。それも、避難する、逃げる、そういった命を守るという行動が、これまで以上に重要になってくるのかなと。ですから、全てをハードで守るところは難しい中、ここの主な現状という中で液状化の被害想定というのもありますけれども、先ほどの避難訓練といったソフト対策であったりとか、こういう啓発であったりですとか、そういう面での対応というの、今後、しっかりとやっていく必要があるのかなということをおもっています。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>環境の問題というものも大きな課題としてありますので、その対策と本当に水位が上がっていくゼロメートル地帯というものにおける災害対策というところの、改めて必要性をお話しいただいたかと思えます。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>八木委員、お願いします。</p>
八木委員	<p>私も、先ほどから出ていた道路の渋滞なんですけど、やっぱり渋滞することによって抜け道で住宅街に入ってくるというのが多くあるとか、あと、先ほどあった転用の関係でトレーラーが増えて、今まですぐ出れたところがトレーラーが並んでいて出れないとか、当然、そこには通学路もあつたりとかして大変危険なことがあつたりとか、やっぱりいろんな意味で道路のインフラの整備をもうちょっと見極めてやってあげないといけないと。</p> <p>ましてや南から北に一気に行くにも何本もないものですから、隣の木曾岬を使つたりだとかになりますので、弥富市として生活の中でのしっかりとした道を早いところ整備していただけると助かるのかなというふうに思います。</p> <p>もう一つは公園なんですけど、ここにも何か緑地の整備ってあるんですけど、近年、子供</p>

	<p>の減少化で、地元の鍋田でも何個かあるんですけど、公園って果たしてどういう存在なのかなど。逆に言うと、地域の守りで負担が大きいとか、公園を統廃合するべきなのかなど。立派な公園を造って憩いの場にするだとか、充実させる公園、三ツ又池公園があるんですけど、場所的にもいろんな意味があって、そこも行くアクセスの道がないだとか、どうしても車がなきゃいけないだとか、そういった歩道の整備だとか、いろんなものが絡んでくるんですけど、やっぱり在り方というのを今後、全体の市民の声を聴いて考えていくべきじゃないのかなど。維持管理の負担が多分、大分大きいんじゃないかなというふうに思いました。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>やはりハードの面の整備で、生活環境での道の大切さという部分と、あとは、そういう公園を市民の中にどういうふうにご利用していくかとか活用していくかというところが、今後の整備とか公園の在り方というところを考える上では大事なかなと思いました。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>駆け足で、どんどんいろんな御意見をいただくような形で意見交換させていただきましたけれども、基本目標2から5の中で御意見をいただきましたかったところというのが以上の内容になります。</p> <p>今、前に板書をしていただきましたけれども、皆さんから出てきた意見のところを各基本目標ごとにまとめていただいたのが前でも出していただいた内容かなと思います。</p>
藤井会長	
伊藤廣委員	<p>1点だけいいですか、最後の目標5のところ。</p>
藤井会長	<p>どうぞ、伊藤委員。</p>
伊藤廣委員	<p>名古屋港さんにお問い合わせがあるんですが、トレーラー渋滞ってすごいですよね。行きたいところにも行けない可能性があるぐらいトレーラーがある。その分、ごみも出ますよね。できれば、トレーラーさんの、集まって、そこで待っていただくウェイトヤードといいますか、そういったところを近い土地で、鍋田に遊んでいる土地もありますので、そこら辺のところでお造りいただいて、そこに固めていただくと、ごみの問題は一挙に解決しますよね。そこから連絡で、この車、この車という、そういったシステムというのはいできないものかなってかねがね考えておるんです。</p>
葛山委員	<p>一方で、飛島ふ頭でも以前、同じコンテナターミナルという、中に入るための待ちで渋滞が非常に多いわけですね。飛島ふ頭には、おっしゃるように、飛島ふ頭に入っすぐの場所に、事前に受付をする、いわゆる受付機能だけを集約するゲートなるものをつくって、そこで一旦受け付けしてから各ターミナルに行くと。そうすると、事前に情報が先方のターミナルのほうに連絡されて、結果的に、車としては2回遠回りをするんですけど</p>

	<p>も、非常にそれで効率がよくなって渋滞が解消されたということがございます。これ、実は、集中管理ゲートというふうに呼んでおりますけれども。</p> <p>最近、マクドナルドのドライブスルーなんかでも、注文と払うところ、受け取るところを分けることで、逆に、関所は増えるんですけども、流れるようになった。それと同じようなことを鍋田のコンテナターミナルは、事前に道路上で受付をやろうという仕組みを検討しております、それがうまくいくと、もう少しうまく流れるようになるかなと。</p>
八木委員	<p>富浜緑地公園、入れないもんね。トレーラーが並んじゃって。あそこ、左折ができないです。</p>
伊藤廣委員	<p>右折して、Uターンして行かないと。</p>
藤井会長	<p>すみません。時間になりましたので。</p>
入江委員	<p>【グループB】</p> <p>改めまして、こちらの意見交換会の取りまとめさせていただきます入江と申します。よろしく願いいたします。若干距離があって、割と張っていただくかもしれませんが、すみません。</p> <p>時間が限られておまして、1時間ちょっとぐらいここにかけたらなと思っているんですけども、こちらのグループに割り振られたテーマとしては大きく4つございますので、その4つを順番に満遍なく皆様方の御意見をいただきたいなと思います。そうすると、大体1つのテーマが15分とか、ちょっと取っても20分程度でひとまずにしたいと思います。</p> <p>最初に、なぜ、この意見交換をしたいというのか、私も含め、藤井会長と私、事務局とも、最初にいろいろとすり合わせをした中でこういう形でいいんじゃないかというふうにさせていただいたんですけども、もう少しこちらの思いというか、趣旨を説明したいと思うんですけども。</p> <p>前のときにも皆様方から御意見をいただきましたけれども、時間不足だったなというところもありますし、冒頭に市長からの御発言も、御説明もありましたけれども、この計画の位置づけですとか、それから皆様方の御意見をどう反映するかという辺りを考えたときに、1つは2040年を見据えてということ、2040年を遠くのほうに念頭に置きながら、今後の5年間でどういうふうにしていくのかということ、この計画に落とし込んでいけたらなというのが、まず一番重要なことと思っております。</p> <p>そうしたときに、せっかくこうやって御経験豊かな様々な分野からの委員の皆様方をお越しになっておられますので、なるべく反映をしたいというところなんですけれども、字句のところに、すごく細かいところに議論を落とし込んでいってしまうと、なかなか議論というのが、大きなところできませんので、せっかくこういう審議会の場ですから、</p>

様々なバックボーンをお持ちの委員でいらっしゃると思いますので、どういう未来を描いていきたいのか、ざっくり言うとどんな弥富市にしていきたいのかというような辺りの皆様方の想いなんかをここで共有をしていただければなというのが一番の趣旨でございます。

その後の集約については、事務局、先ほども御説明がありましたけれども、全てのものを正確に、皆様方の御意見を一字一句全部落とし込むというのは難しいかもしれませんが、そここのところの翻訳作業は、事務方にある程度信頼してお任せをしたいというふうに思っていて、ここでは、皆様方に普段思っている市政に対する、あるいは将来的な5年先のことを考えた未来志向での、どういうまちがいいな、どんなふうになっていたらいいなというようなところを、今日は忌憚のない御意見をいただければなということでございます。

また、こういう形にさせていただいたのは、本当はもっとぎゅっと詰まったほうがいいんですけど、いただいたというのは、やっぱりふだんのオーソドックスな審議会スタイルですと、なかなか意見がお一人お一人の方にいただく時間がないですし、心理的なハードルもあるかなというところでした、小さい人数でグループ単位にするとお話ししていただきやすいということが1つと。

それから、私はこれは個人的に思っていることなんですけれども、こういうふうに皆さんでざくばらんに意見交換をしていただく場というのもすごく大事だなと思っていて、ここでどんな意見が出てくるか、実際分からない。いろんな、そんな意見もあるんだみたいのところを多くの方と共有するということによって、ここからまた新しい価値が生まれていく可能性というのはすごくあると思っていて。また、それを、生まれた価値を皆様方委員がそれぞれの中に内面化させていただくと、この計画がこれから出来上がってきたときに、皆さんがそれぞれこれからのキーマンになっていただいて、それぞれの場所に戻っていただいたときに、こんな計画ができたよとか、こんな弥富の未来になりたいと思って、こんなことを言ったんだよみたいなことをどんどんと広めていただく。で、実際に使っていただくというようなキーマンになっていただくことによって、冒頭に市長がおっしゃったような、行政だけの計画じゃなくって、市民一人一人にとっての計画になるんだという、それが実現できるんじゃないかなというようなことを個人的には思っているところです。ですので、ぜひ、忌憚のない想いを、今日はこちらで御発言いただければなということでございます。

すみません、説明が長くなりましたけれども、こういうような取り回しで行きたいと思っておりますので、それぞれ与えられた基本目標1から順番に進めますけれども、できる限り多くの、できれば全員の委員の皆様方、各分野における御発言をお願いできればなというふうに思っているところです。

それでは、まず、基本目標の1から順番でよろしいですか。まず、生活環境のところなんですけれども、防災、それから消防、救急体制、防犯、交通安全対策、環境衛生、環境対策と、まさに広うございますけれども、どういったところでも結構です。委員の皆様方、こういうふうになっていたらいいなと、弥富市の未来像、最初に事務局からもお示しいた

<p>入江委員</p>	<p>だきました、市長からもお話しいただきましたけれども、そういった弥富市の未来像なんかも念頭に置きながら、どういうふうなものになっていけばいいなというようなところをお話しいただければと思うんですけども、いかがでしょうか。</p> <p>どういった順番でも結構です。順番がいいですか。</p>
<p>伊藤善啓委員</p>	<p>伊藤委員、いかがでしょうか。</p> <p>すみません、個人的な意見で申し訳ございません。</p> <p>やはり防災と防犯のところが私が一番気になるところで。</p> <p>この海部地域としましても、弥富市、もしくは飛島村、こういった湾岸に近いところについては、ここにも主な意見にもありましたけれども、コロナ禍において、自主防災の防災訓練ができていなかったことを実施しましょうとか、地域のつながりとかその関係で、とにかく防災に意識しましょうとはいうものの、逃げるにしても大体どこに逃げるのが正解なのかも分からないとか、予知ができないものに対して、今この時点で巨大地震が起こったときに、家におった高齢者を誰が助けるのかとか考えたときに、想像ができないのが事実だと思うんです。</p> <p>そうやって考えますと、海に近い地域であれば、最低限、どこに逃げれば一人の命でも救えるのかというところをまず第一前提と考えて、内地に入れば入るほど安全の保障が高くなるので、そういった防災に対する、避難はいいですけど、もっと具体的な避難方法を、設備とか施設の建設とか、大きな話になりますけど、そういったものを含めた命の保障、そういったことを考えていただければなと思います。</p> <p>あと、防犯については、金融機関としましても、日頃から特殊詐欺の防止には尽力させていただいているんですけど、それでも、あの手、この手を使って、どうしても犯罪は絶えないのが現実でございますので、金融機関としても、そういう働きかけはしているものの、中には、何でそこまで聞くんだと、やはりお小言をいただく方もいる中で、そういった市民の方の御理解、そういうくどいことを聞かれても理解いただけるように、市からの何らかの形で市民の皆様へ御理解いただけるような案内をしていただけると、私どもがやっていることに意義が出ますのでお願いしたいなと、意見です。ちょっと長くなりましたけど、とりとめのない話で。</p>
<p>入江委員</p>	<p>いえ、ありがとうございます。</p> <p>東嶋委員、いかがでしょうか。</p>
<p>東嶋委員</p>	<p>ここの意見にも出ているんですが、私自身も考えているというか、最近、すごく危機感を持っているのは、このコロナで3年の間に自主防災会どころか、町内会とか子ども会とか、そういう各種団体、文化団体もそうなんですけど、全て活動ができにくくなった環境になってしまって、1番の防災のところでも、防犯もそうなんですけど、さっき、委員さんが言われたような、私も同じ感覚を持っていて、訓練というのはいろいろと計画してい</p>

ただなんですけど、自分に落ちていないということが多く、訓練というか、全体で訓練をやる方法を、もう少し変えたほうがいいかなとは思っているんですね。

もう少し、どちらかという、イベント的な訓練ができないかなと思っているのと、あと、やっぱり現実に見たほうがいいので、ウォークラリーのような、自分の地区の避難所はどこにあるか、みんなで歩いて確かめましょうとか、それから、弥富の場合は、水タンクが全部地区ごとに置いてあるんですけど、タンクのお水が高いところにぽっと立っているんですけど、あのお水を替えなくていいのという質問があったりするんです。実は、あれは替える必要はなくて、循環している。替えなくていいんですけど、せっかくある、しっかり用意していただいている避難場所にしてもそういう施設にしても、なかなか見る機会が、訓練で構えてしまうとやらされるみたいな感覚があって、もう少し遊びじゃないんですけど、イベント的なものにできると参加がしやすいのかなという感じがしていて、やっぱり、まず自分の身を守るといっても何をやりゃいいのという人が多く、また、組織も壊れつつあるので、それだけそこに拍車をかけているのではないかとこの心配をしているんですね。なので、その辺がもう少し、今から一からでいいので、もう一度、みんなで確認できるようなことができるといいかなと思っています。

環境についても、全て一緒だと思うんです。皆さんの中に感覚がないわけではなくて、どうやって参加したらいいんだろうかというのと、参加することの意義があんまり伝わっていないんですね。全部大事なことなんですけど、やっぱりうまく参加をしていただく、参加させる方法を今後考えていくのが、まず先かなと思っています。

以上です。

入江委員

ありがとうございます。

市民の皆さんに自分事に思っただけの機会とかということですよ。計画とか訓練とか幾らあっても、実際に自分の中に落ちていないといけないということですね。

東嶋委員

難しいんですけど、そこを考えていけたらなと思います。

入江委員

ありがとうございます。

手嶋委員、いかがでしょうか。

手嶋委員

私も、この分野に関しては、やっぱり防災の問題が一番大きな課題かなと思います。私は、弥富市に住んでいるわけではないんですけども、やっぱり外から見ても、災害に弱い場所というのは住みづらいいかなという気がします。住む場所を選択するに当たっても、やはり災害の問題というのは念頭にあって、選択する場合に考慮する重要な項目だと思うんですね。

そうすると、できるだけ人にたくさん住んでもらうということで、外から来てもらうというようなことを考えた場合には、防災の面でしっかりと対策が取れていて、安心して暮らせるような、そういうまちでないと思えばいい、住もうとなかなか思えないというよう

なところがあるんですね。

私が住んでいるところは愛知県の東の端、ちょうど弥富市さんは西の端ですけれども、反対側になるんですけれども、豊橋市というところに住んでいるんですけれども。海沿いのほうは、かなり土地が低いんですね。新田開発が行われた場所で、鍋田干拓とよく似たような土地柄なんです。それで、排水ポンプなんかを、設備が幾つかあるようなところで、いわゆる豊川のちょうど河口域にある場所です。

港がちょうど、豊橋港という大きな港があるんですけれども、港と駅の間のところ、そういう、ちょうど弥富市さんと同じような、田んぼが広がっているようなところがあるんですけれども、そういうところで家は建ってはきているんですけれども。家を建てようということを考える場合に躊躇をするというのは、そういうところが、本当に大丈夫なのかということがあって、結構、ハザードマップなんかを見ると、新田地帯は浸水することが予想されている、そういう場所でもあるので、やっぱりそういう地域にどういう対策が講じられているのかということが明確に示されていないと、安心して暮らすということが難しいのかなという。その辺りをしっかりと、いろいろ調査をして、研究をして、ある程度、客観的に明らかにして情報提供してもらおうということが重要なのではないかなと。それを基にしてしっかりした対策を講じていくということが大事だと思うんですね。

弥富市さんのホームページを見て、ハザードマップを見たんですけれども、津波とか、それから高潮による浸水のハザードマップを見たら、ほぼ全域が浸水するというような状況になっていて、あまりにもショックだったので、どこへ逃げたらいいのかという、そういう危機感を覚えたというところがあります。

そういう意味では、ある程度、地域ごとに高台のようなものをつくるというのは、僕も1つの方法かなと。地域の住民の人がいざというときに逃げることもできる、そういう若干、盛土をした高台のようなところ、避難場所をつくっておくというのも大切なのかなという気がしました。ただ、土を運んでくるのが大変なんですけれども。

今、リニア新幹線が2027年開業を目指してということをやっていますが、静岡の問題があって若干遅れそうなんですけれども。品川、名古屋間が開業した後、すぐに、また今度、大阪までの路線を工事に入っていくというような予定になっているわけなんですけれども、その場合、当然、名古屋の駅からは地下トンネルでずっと掘って行って、ちょうど弥富市の下辺りを通っていく予定になっているんですけれども。

高速道路のインターの周辺か、もうちょっと市役所の南側の辺りですか、そんなような関係になるんですけれども。そのトンネルが木曾三川を越えた辺りで上に出てくるのか、そんなような計画になっているようなんですけれども。当然、トンネルを掘れば残土がたくさん出るものですから、そういうものの活用みたいなことも、ちょっと先の話なんですけれども、だから、2040年ということをやると、そういうことも、その間には、場合によってはやっていくというのもいいのかなと。それまでにちょっと大きな地震があって、津波に襲われたら大変ですけど。

ただ、何にしても、今の地域の中での避難場所というのは、本当に大地震と津波の被害に耐えられるのかどうかというのは、かなり疑問に思うというところですね。その辺りを

	<p>もう少し客観的にというか、科学的にしっかりと調べていくということも重要だなというように思います。</p>
入江委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、今井委員、いかがでしょうか。</p>
今井委員	<p>私もやっぱりここで気になるのは防災なんですけど。</p> <p>私、大阪出身で、阪神・淡路大震災、高校2年生のときに体験しているんですけど、やっぱりすごく揺れたんですよ。食器も全部落ちて、棚までは倒れなかったんですけど、うちの家はそれぐらいで済んだんですけど、近くの家では全壊のおうちもあったりとかして、すごい怖かったなという記憶がまだ残っているので、防災に関しては、自分事として捉えていかないといけないなと思っていて。</p> <p>こっちに引っ越ししてくるときに、うちの父が、海拔ゼロ以下なのに、そんなところに住むなんて考えられないとあって、何でそんなところへ行くんだみたいなことを言われたんですけど、主人の実家があるので、選択肢がそれしかなかったというところもあるんですけど。</p> <p>そのときにも、津波とかが来たときに、自分はどこへ逃げたらいいのかとか、うちの地区からすると、福祉センターか弥生小学校になるんですけど、いまだに高さがどっちのほうが高いんだろうとか、そういうのをいろいろ考えながら、でも、多分、集中するのは小学校かなとかあって、そうすると、福祉センターに逃げたほうが、入れないということも想定しないといけないとか、そういうのをいろいろ想像するというのが日々大事かなって思ったりはします。</p> <p>テレビでよく、津波が来たときに、ここの地区が流されて大変だよというバーチャルの映像とかあるじゃないですか。ああいうのも、弥富市で、ちょっとお金がかかりますけど、つくってもらおうと、予想にしか過ぎないけど、ここにいると危険だなとか流されちゃうとか、家にいてとか学校にいてとか職場にいてとか、そういういろんなところにいるときの自分を想像する。あと、家族もどういうふうに避難すればいいのかとか、おじいちゃん、おばあちゃんもいるので、やっぱり一緒に行くためにはどういうふうな避難経路がいいのかとか、そういうのも家族とか、あと、近所の人とかもいろいろ考えて想像するのが大事かなって思います。</p> <p>ただ、でも、経験していないのと、その辺のどういう状況でどういうふうになって避難すればいいのかというのはなかなか難しいと思うので、小学校とか地域の避難訓練、最低でも年に1回やるといいのかなって思います。</p> <p>あと、環境なんですけど、弥富市は結構きれいなほうだと思うんですけど、駅前とか何回か掃除させていただいたことがあって、細かいごみって落ちているんだなと思って、気づかないだけで。それを拾って掃除すると、自分の心も気持ちよくなるんですけど、周りの人も、市民の人がそうやって自主的にこうやって掃除しているって何か気持ちいいなという、周りも気持ちがよくなるというか、自分もそうしたいなという気持ちになると思</p>

<p>入江委員</p>	<p>うので、そういう意識も大事かなって思います。 以上です。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>今回は、皆様方により多くの意見を言っていたきたいということもあって、私が別に取りまとめをして何か取捨選択をするというのは全く考えていないんですけども、別に、この後なるべく多くの御意見を共有したいということなんですけど、ちょっとだけ今出していただいたことで共通項を探したいなと思いますけど。</p> <p>いざというときのことを自分事にするということ、どういうふう具体的にやっていくのか、落とし込むのかという、それを、周知をするのかですとか、実際に目でみて確認をするのかとか、そういうことに、皆さん、御関心がすごく強いんだということが今分かったかなと思います。</p> <p>例えば、弥富市の未来像というところに引きつけて見ますと、市民からおっしゃったのは、災害に弱い場所は住居として選ばれないということからいうと、そういうことをうまく市としては、ここまでカバーをしていますとか、市民の安全を確保しようということをやっていますということ、なるべくうまく外に出していくという作業も必要なんじゃないかということをおっしゃられるかなというふうに思っていました。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>では、時間が限られていますので、次に行かせていただきたいんですけども、基本目標の4、産業と雇用になります。こちらについても委員の皆様方の想い、できるだけ未来志向での今後の弥富市がどうあるべきかというところを踏まえて御意見をいただきたいんですけども、どうしましょう。やっぱり順番にしますか。</p> <p>では、すみません、伊藤委員からお願いいたします。</p>
<p>伊藤善啓委員</p>	<p>私、農協なんですけど、農協の職員の目線もあれば、農家の目線というのもありまして、ここに書いていただいておりますとおり、農業の担い手の育成とか新規参入者の御支援を非常に手厚くやっておりますので、それ以上のことをやっていただければありがたいのかなと思います。</p> <p>ただ、それに併せて、農協の職員もいろんな市町にまたがるものですから、弥富市に関わる支店としては、何とか弥富市の事業や催しに少しでも参加できるようには配慮をさせていただきたいと思っています。そんな感じです。</p> <p>以上です。</p>
<p>入江委員</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>やっぱり担い手育成が重要ということですね。</p>
<p>伊藤善啓委員</p>	<p>そうですね。</p>

入江委員	今のところは、割と最近の新しい方、若干、担い手として参入されるようなこともあるんでしょうか。
伊藤善啓委員	あるんですけども、どうしても農業で飯が食えないというのは、全国、全部とは言いませんけど、圏域によっては、そういうところも、要するに規模が大事になってくるので、どうしても大作の農家さんであれば採算は取れるにしても、やはり兼業農家というのはあって、兼業といえども、ほとんど農家という、商いをやっていないような農家さんというのは非常に多くなっていますし、農業自体は委託している方が多いものですから、そこを戻せというのは難しい話であって、ただ、絶やさないように、農地の面積が減っていかないような御支援をいただければなというのが、最終的には農家への還元になると思うんですけど、そういったことをお願いしたいなと思っております。
入江委員	ありがとうございます。 東嶋委員、いかがでしょうか。
東嶋委員	この目標4のところ、4-3 観光の振興のところにあるんですけど、まちなか交流館なんですけど、歴史民俗資料館もあそこに入って、すごくまちなかに来てよかったなど。市役所の横だしいなと思ったんですけど、そこだけではなくて、1号線のところに商工会の建物があるんですけど、あそこって1号線の一番メイン道路のところにあるので、そこに outlet じゃないですけど、弥富のPRの場所みたいなものをつくって、いろんなものをあそこに置いたりすることは、支局みたいにつくれないのかなと思って。弥富を往来する方は大分みえると思うんですけど、市役所の横のまちなか交流館を知っている人ってあんまりないかなと思っていて、通っているときに、ここにこういうのがあるよというのが分かると、そこにできるかどうか分からないんですけど、農産物にしても、そういうようなものが置けるのかどうか、いろんな縛りがあるので。ただ、思いで言っているだけなんですけど。 ただ、弥富の農業とか、そういうものとか、それからうちの売りのもの、金魚だったり、そういうのを外でもいろいろと提案をしてみえるんですけど、弥富の1号線沿いの商工会のところが一番いいなといつも思っていて、あそこを何とか活用するような方法、あそこがこれからどうなるのか分からないんですけど、窓口としてというか、よくありますよね、道の駅みたいな。ミニ道の駅みたいなのができないかなと。
入江委員	商工会の建物？
東嶋委員	建物のところに、どうなるのか、あれも市の方に聞かないと分からないんですけど、駐車場があって、商工会の建物があるんですけど、入口のところかどこかにそのぐらいのスペースはできないかなと思って。

入江委員	<p>市長、御存じですか。どうですか。</p> <p>1号線からこちらへ入ってくる角っこのところ、車がいっぱい置いてあって、建物の。そこですか。</p>
安藤市長	<p>そこです、そうです。</p>
東嶋委員	<p>1号線沿いなので、商工会の建物の壁にでもわーっと書くといいと。怒られるかもしれないけど、何かPRの方法で目立つようなものを作ってPRしたいなって思うんですね。</p>
入江委員	<p>それは、市民の方に対してというよりも、市外の方に対してのPRの場としていいんじゃないかという。</p>
東嶋委員	<p>市民の方でも、知っているようであまり。多分、一部の方だと思うんですね、まちなか交流館に来る方も。市民の方でさえ、わざわざというのはなかなかなくて、しょっちゅう目につけば、行ってみようかなというふうに、両方のつもりです。内外両方に対してのPRの場所と思うんですけどね。</p>
入江委員	<p>内外。なるほど、そういう施設が、逆に言うと、今のところ足りていないんじゃないかという想いでいらっしゃるわけですね。</p>
東嶋委員	<p>文鳥の生産者の関係があるんですけど、せっかくの弥富のそういう文化だとか環境とか、そういう観光も全てですけど。何らかの形で続けていけることがあれば、PRしていかないと、弥富、何もないような、と思うんです。やっぱりPRの場所とかがあって、できる範囲があつたら、やっていったほうがいいんじゃないかなって思います。</p>
入江委員	<p>なるほど、ありがとうございました。</p> <p>今あるものが、産業とかもすごくいいものがあるのに、活かしきれて、宣伝しきれていないんじゃないかという、そういう想いでいらっしゃるということですか。</p>
東嶋委員	<p>担当の方からするとあるかもしれないですけど。</p>
入江委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>手嶋委員、いかがでしょうか。</p>
手嶋委員	<p>今の東嶋委員の話と関連するんですけども、やっぱりPRの仕方がちょっと弱いとか、あまりうまくないなという感じはしますね。金魚で有名だということは昔からよく存じているんですけども、かなり以前になりますけれども、20年、30年近く前かな、家族で車で伊勢のほうまで出かけて、その途中、弥富を通ったときに、金魚で有名な弥富</p>

だという話をしたんですが、何の案内もないと、金魚らしきものが全然目に留まらないということで、何か金魚を見たいなと思っても、どこへ行けばいいのかといたら、さっぱり分からないというような、そんなような状況でしたね。

それから、行きは23号線だった。帰りは1号線を通ったら、1号線、片側1車線で、すごく、こんなところで大丈夫かなというような、そんな印象を受けたことがあるんですけども。

ただ、何にしても、もう少しまちの特色をPRするようなことをあちこちでやっていくということも大事かなと。文鳥の話に関しては全然知らなかったものですから、弥富市の委員に関わらせてもらって初めて知ったというような、そんなところですので、これももっとPRをしっかりやっていく必要があるのかなと思いました。

それから、あと、産業の面に関しては、これまでの中小の事業者さんに対しては、かなり手厚い施策を展開されているのかなというような、そういう印象を受けるんですけども、いま一つそれがぱっとしないのは、基本的には事業者さんの問題だというのが明らかであって、もう少しやるんだという、そういう意識のある人が出てこないことには、まちの農業にしろ、あるいは商業にしろ、あるいは中小の企業、工場にしろ、なかなか活性化していかないと。

そういう意味では、いかに人を育てていくのか、それぞれの業界で活躍する人をいかに育てていくのかということが大事なんですけれども、これにはかなり限界があるのかなという気がしています。代々意を継いでいくみたいな形じゃなくて、外からそういう事業をやりたいという人をどんどん育てて、仕事ができるようにしていく。そういう仕組みをもっと柔軟に取り入れていくというようなことが大事になっている、そんな気がしますね。

入江委員

ありがとうございました。
今井委員、いかがでしょうか。

今井委員

私も最初、観光のほうでお話しさせていただきたいんですけど、まちなか交流館、駅のところに、まちなか交流館、こちらですみたいな看板があると、それだけで、まちなか交流館って何かできたんだね、弥富市の方でも知らない人もいらっしゃると思うので、今度行ってみようみたいな、きっかけになるのかな。市役所に行くにつれてまちなか交流館の矢印みたいなのがあって、来てくれる人も多くなりますし、文鳥の文化とか金魚の文化を考えると、勉強するきっかけにもなるのかなと思います。

あと、小学校とかでも、多分、桜小学校はすごい近いので、まちなか交流館とか、みんなで行ったのかなって感じはするんですけど、ちょっと離れた小学校とかだと、行ったことがない。うちの子は行ったことがないというので、各小学校でも、そういうちょっとした遠足みたいな感じで、校外学習で行けたらいいのかなって思います。

あと、商業なんですけど、私も個人でリラクゼーション業をやっているんですけど、どうしても、弥富はなかなか難しいというのを目の当たりにしていて、半分諦めに入る感じ

で、利用してくださる方は、津島、名古屋、あと愛西とか、やっぱり弥富市民じゃないですよ。弥富市の方って、自分のためにお金を使うというのは苦手という感じもするし、そういうふうに皆さん、質素にお暮らしになられているという感じがするんですよ。

なので、経済が回らないし、働きに行かれています方、名古屋だったり桑名だったり、行かれる方も、そこで買物をされて帰ってこられるので、弥富には何もないから買物はできないやみたいな、そういう流れもすごいあるなって思います。月に3回ぐらい、南側の近鉄の駅のロータリーのところでお弁当を売ってくれている方がいらっちゃって、そういう方とかがもう少しいらっちゃると、そこで買物をして帰ろうという気持ちにもなるでしょうし、マフィン屋さんとかもあるんですけど、頑張っているから、だんだん認知度も上がってきて、すごい人気になられているので、また、そういうお店がどんどんできればいいなって思います。

そのパディーでも、若い人が買物に来るという感じではなくって、どっちかという高齢の方とか、毎日のようにそこに通われている方とかが多くて。

これ、言っているのかなって感じなんですけど、先週土曜日に高校生と大学生がイベントをしたんですよ、商業施設で。歌を歌っている方がいらっちゃって、私たちにしたらそんなに大きくないボリュームだったんですけど、施設の人が途中から来て、ちょっと音を下げてくれとって、歌っている途中に声をかけてきたんですよ。私、それを見た瞬間、若い子たちが一生懸命頑張って、4か月かけてつくったんですけど、それ1つで、その子たちの気持ち、すごい台なしにしているなと思って。久しぶりに怒れてきちゃって、そういうのもお互いに応援し合わない、若い子たち、絶対こんな弥富市に住みたくないってなっちゃうと思うんですよ。だから、若い人を応援できるまちづくりになればいいなというのを肌で感じました。

以上です。

入江委員

ありがとうございます。

若い人を応援できるまちづくりというのは、すごく今キーワードとしていいなと思ったんですけども。選び、選ばれるというのも、市外からもそうですけど、市内の方にもそうですよね。若い人たちがここを選んで、ここに住み続けようというふうを選び取るということも、やっぱり必要ですよ。

ありがとうございます。

それでは、まず、ざっと聞いて、もし、時間が余るようでしたら、ここは言い残したということがあれば、またお聞きしたいと思います。

では、次に、基本目標の5ですけれども、都市基盤のほうに移りたいと思います。

都市基盤のところは、市民のアンケートなんかでも事前に出てきたところで、道路網の整備ですとか、南北の違いとかというのが、かなり市民の方の生活感の中にいろいろと想いが出てくるかなとも思いますけれども。では、この都市基盤のところも順番にしましょうか。どうしましょう。

伊藤委員からお願いできますでしょうか。

伊藤善啓委員	<p>まさにそのことを言おうと思ったんですけど、私は住まいがここじゃないものですか、仕事上で通る中で皆さんも分かっていると思いますが、弥富インターから 155 号線に出て、1 号線に入る陸橋のところですね。あそこをたまに救急車がどん詰まりしておるところ、どうしているのか、最後まで見届けたことはないんですけど、万が一そういったところで命に何かがあってはいけないので、普段から混雑する道路をもう少し調査していただいて、迂回路をもう少し整備していただけるように、住宅に近いところだといろんな危険性も伴いますので、土地の安いところを狙って整備していただくとか、そういった検討をしていただければと思います。</p> <p>あと、駅前の整備事業のことも書いてありましたが、つくって使われないのもいけないので、何か大きく目的や今後の弥富市の発展を目指した何か目玉となるものができた後に、そういう宿泊施設とか、そういったものを整備、誘致をしていただいたほうがいいのかなと思います。</p> <p>以上です。</p>
入江委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>やっぱり日常的に混雑するところというのは決まっているんですかね。</p>
伊藤善啓委員	<p>そうですね。あんまり、住んでいないものですか、そこまでは言い切れませんが、もっと、皆さんのほうがお詳しいと思いますけど。</p>
入江委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>東嶋委員、お願いできますか。</p>
東嶋委員	<p>この 5-4 の市街地の整備というところで、今、現況にある中小というか、個人営業のお店なんかはまだ残っているんですけど、だんだん商店街が商店街ではなくなっているとか。さっきのどこにも買物に行けないという問題と一緒に、スーパーがあるところに車で行くだけで、商店街の中を見て歩くような、楽しみのところがない。今あるところをもっと頑張ってくださいというのは酷な話なんですけど、できれば、津島じゃなかったかな、空き店舗の再利用という形で、そこのお店をボランティアの方たちで利用するとか、何かをして、商店街を活性化させるというか、駅前の商店街なんかもそういうのがあって、人を戻すようなことができれば少しは魅力ができるのかなと思ったんですけど。</p> <p>あと、競馬場のそばってどこの欄になるのか分からないんですけど、こちら、名古屋のほうから来た競馬場のほうの周りというのは、あそこができたので、これから開発していくのかなという、周り。</p>
安藤市長	<p>できません。</p>
東嶋委員	<p>できませんか。できない理由は。</p>

安藤市長	農地ですので。
東嶋委員	というのは、農業委員会ですか。
安藤市長	農地というのは、超一級農地です。
東嶋委員	そうなんだ。あそこがにぎやかになればいいなと。
安藤市長	国営干拓事業でできている農地ですので、国のお金が最初にどんと入っていますから、そう簡単には。
東嶋委員	変えられないんですか。
安藤市長	道路が来ると、湾岸とか西尾張中央道の付近は開発できるんですけど、中に入ってしまうのはできないんです。
東嶋委員	湾岸のところは、道路沿いは。
安藤市長	大丈夫です。
東嶋委員	あれは大丈夫なんですね。そこに誰も来てくれないですか。いや、あれだけの競馬場が来たから、できてもよさそうなのに。
安藤市長	工業系はいいんですけど、商業はできないです。
東嶋委員	そうなんですか。
安藤市長	店舗面積がかけられちゃいまして、ちっちゃなものしか、コンビニぐらいしかできないようになっている。そういったルールがありますので。
東嶋委員	何か、いまでもすーっと、あそこ、何もないので。
安藤市長	ドラッグストアは、私、欲しい、欲しいって言っているんですけど、すごく要望しているんですよ。なかなか難しいみたいで。
東嶋委員	面積数とか、何かいろいろあるんですね。
安藤市長	規程があるみたいで。

東嶋委員	何かできそうな感じがしたんですよ。できたら、あの辺がもっと開発されるななんて思ったんですけど。
安藤市長	いいですよ。競馬場、大きな大和ハウスが倉庫を建てたんですけど、あそこにコストコが欲しかったんです。
東嶋委員	そうですね。
安藤市長	UFJとか、そういうところをお願いしたんですけど、なかなか無理だったんですね。
東嶋委員	そうなんだ。動いていただけたんですね。ありがとうございます。
安藤市長	いえいえ。
入江委員	残念ですね。
東嶋委員	残念ですね。
入江委員	コストコがあれば、すごいことに。
東嶋委員	やっぱり新しいそういうのができると、そこにつながるものの開発が一番しやすい。
入江委員	点じゃなくて面の展開ですよ。
東嶋委員	そうなんです。展開が広がっていくなと思って、きっとよくなるなと思ったんですけど、駄目なんですね。
入江委員	何か方法があれば、市長のお知恵と剛腕で。
東嶋委員	何かあれば。
安藤市長	商業施設が本当に欲しいですよ。
東嶋委員	せっかくあれがあっても、ぽつんとあそこだけになってしまったら、そこだけ行って、みんな帰ってっちゃうので、あそこに来る人を取り込みたいなど。お金を落としてほしいんですけど。 ということです。以上です。

入江委員	<p>ありがとうございます。 手嶋委員、お願いいたします。</p>
手嶋委員	<p>この領域の中では、駅周辺の再開発事業、これをどういう具合に進めていくのかということが非常に大きなポイントになってくるのかなと、当然、弥富市の玄関口になりますので、ここをきれいに整備していくというのは、非常に重要だと思います。</p> <p>それに対して、総合計画だと、どうしても後期5年というので、前期、後期併せて10年という計画ですので、大規模な将来的な計画というところまではなかなか行かないんですけれども、ただ、2040年という時点を念頭に置いて、将来像を考えてというようなことであると、駅のところの開発のやり方が、今のやり方でいいのかなというようなことは若干疑問に感じています。そういう意味では、これまでの経緯からいくと、やりにくくなってきたはいるんですけれども。鉄道を完全に高架化して、連続立体交差化というか、そういう事業で、駅の周辺からもう少し先まで一体を上を上げてしまうというようなことをすると、まち全体が南北の行き来がある程度確保できますので、そういう意味では、危険な踏切なんかも取り除くができますから、そういうことをもう少し長い視点で計画をしていくということが大事かなと。</p> <p>ところが、先ほど話に出た道路、近鉄と、それからJRをまたぐ形で高架を造ってしまっているものですから、それを取り壊して高架にするというのは、なかなか難しいかなと、もう少し時間がかからないと、それは難しいのかなという感じがするんですけれども。やっぱりもう少しその辺りは、まちの将来図というのは非常に重要だと思うんですけれども、それを念頭に置いてインフラの整備の仕方というのをしっかりと考えて、長期的に少しずつ進めていくというようなことをしないと、ちぐはぐなまちになってしまうという、そういう印象はぬぐえないかなというような気がします。</p>
入江委員	<p>ありがとうございます。 今井委員、お願いいたします。</p>
今井委員	<p>私は、公園の緑地整備なんですけど、近くに公園がありまして、暖かくなってくると草がすごいですよね。子供の足だと、多分すね辺りぐらいまで草が生えていて。</p> <p>それも多分、整備に、あれは市役所の職員さんたちがやってくださっているんですかね。</p>
安藤市長	<p>業者です。造園業者。</p>
今井委員	<p>そうなんです。業者さんにもう少し、予算はかかりますけど、コンスタントにやっていただけるといいなというところがあって。草が生えていると、子供たち、行かないんですよ、入れないので。そうすると、ちょっと不審な方とかが居座っちゃうというか、何回かそういうこともあって。そういうことがあると、さらに子供たち、公園に行かなくな</p>

っちゃうので。

子供たちが遊びに行こうと思うと、誰が使ってもいい公園なんですけど、屋根がある、テーブルがある、机がある、大人たちが会議をしているみたいな、会議室になっているんですよ。いや、そこで会議をするんだったら、喫茶店とか行って会議してもいいんじゃないかなと思うんですけど、そうすると、子供たちも行かないし、この公園は誰のためにあるんだろうって思ったりしたりします。

あと、商業というか、市街地の整備で、駅もすごい大事なんですけど、それこそ東嶋さんが言っていらっしゃった競馬場のほうの周りをもう少しにぎやかにしていただけたら、私たち、4月29日にイベントをするんですけど、そこまでの道って、車じゃないと行けないところで、弥富市のバス業者さんをお願いしてシャトルバスみたいな形で、弥富駅と競馬場と、蟹江駅と競馬場でピストンで動かしてもらうことになったんですけど、多分、競馬場に来ちゃうと、それで終わりなんですよね。何か周辺に遊べるスペースとかあればいいなと思うんですけど、長島まで行けばたくさん遊べる場所がいっぱいあるんですけど、近いとはいえ、なかなか長島のアウトレットまで行って、こっちの競馬場のイベントを楽しもうとか、そういう流れにはならないなって、そういう形で声かけはしているんですけど、ついででもいいので遊びに来てくださいという感じでやってはいるんですけど、なかなか競馬場までの道のりも遠いのと何もないというところが、やっぱり残念なところだなというところはありますね。なので、そこは駅周辺が盛り上がるのも大事なんですけど、何か所か盛り上がる観光地というか、そういうところもつukらないといけないんじゃないかなって思います。

以上です。

ありがとうございます。

面での展開ですよ。ポイント、ポイントだけでは、なかなか人の滞留もされないし、お金も落とさないし、どうやって周回していただくとか、周辺でなるべく滞在時間をつくっていただくかということ、市としてそういうものをお願いしていますよという、ここに長く遊んでくださいねみたいな、さっきもありましたけど、皆さんが駅前から看板があったほうが、まちなか交流館に人の動線として流れていくという、そういう流れを意識したようなまちということですよ。市民から見たとき、そういうものがあればいいなということですね。

ありがとうございます。

では、最後のテーマに行きたいと思いますが、協働・行財政、基本目標の6になります。

ここは本当にいろんなまちづくりに関わるようなテーマですので、これがということじゃなくても、例えば、こういう面で市民協働が進めばいいんじゃないかみたいなことで発展的にお話いただいても、もちろんいいかなと思います。

このテーマについて、また伊藤委員からお願いできますでしょうか。

いろいろ考えていたんですけども、この点から行くと、協働、6-2ですかね。マル

入江委員

伊藤善啓委員

<p>入江委員</p>	<p>シェ等の開催のところが気になったところということで、課題としては、活動ができないということは書いてあるんですけど、やはり小さいお店屋さんを一生懸命応援して、長いことやってみえるところもありますので、そういうのとか、新しく開業された事業者さんとか、そういったのがお互いに情報交換だとか、協力し合って弥富市のお店として何かしらのイベントで出店をされて、アピールすることが大事かなとは思いますが。</p> <p>この間、テレビで蟹江町のをやっていたけど、蟹江町長さんが先導してとか、そういうのをアピールしているというのをやっていたし、活性化という面では、思い切った判断が要るのかなと思います。よろしくお願ひしたいなと思います。</p> <p>公共施設じゃなくとも、何か場所があれば、こういうマルシェのようなものがあつたほうがいいんじゃないかというような考えですね。</p>
<p>伊藤善啓委員</p>	<p>そうですね。ただ、出たい人を率先してやっていただければいいだけで、無理に集めるということはしなくてもいいですけど、自分も参加したいという人を優先させればいいと思います。</p>
<p>入江委員</p>	<p>最近、割とよく駅前、マルシェに限らずですけども、駅前でマルシェをやっているような市町ありますし、あと、商店街も通常、常々お店を開けておくことは無理だけれども、月に1回だけ、この日はということで、業者さんがシャッターを閉めた前に、その日だけのお店を出してもらおうというようなことでやっているようなところもありますし、あと、軽トラ市なんかを、それこそ豊橋のほうとかやっているとところなんか、新城とかもやっていたりするんですけど、いろいろ方法はあるのかなと思うところですよ。割と小さいお店だったら、期間限定で出したいなということも結構いらっしゃるんじゃないかなと思うんですけどね。</p> <p>例えば、駅前が整備されて、市長、駅前がもし整備されたら、そういうスペースってできそうなんですかね、駅前広場で。</p>
<p>安藤市長</p>	<p>キッチンカーを置くぐらいのスペースはありますものですから、そういったスペース。よくお話はいただいております。</p> <p>今井さんのほうからも大分。現在の近鉄の南口でもやりたいなと思っているので。</p>
<p>入江委員</p>	<p>一番人がたくさん通る場所で、にぎわいという、目で見てもよく分かりますもんね。ありがとうございます。</p> <p>では、東嶋委員、お願ひいたします。</p>
<p>東嶋委員</p>	<p>今、市長さんが言われたキッチンカーの話というのは、やっぱり実現してほしいなということで、結局、まずは弥富の駅前でそういうものを展開されていないと、皆さんが出るきっかけになると思うんですよ。弥富でああいうことをやっていることが、じゃ、また、</p>

	<p>今度あったら行こうかということから、前にも申し上げたんですけど、シャッター街というか、そういうところの外でもいいとしたら、期間限定でお店を出してもいいというのを、今日だけ商店街みたいなイベントを組んでもいいのかなって思って。</p> <p>例えば、駅前にその日用の地図、ここにこれがあるよみたいなので、前に長島でそういうことがあったんですけど、手形というのを出して。それが500文かなんかって、そういう手形になって、それが500円の金券になっていて、協力して連携していたお店でどこで使ってもいいよというようなのを入口で、駅のところで買っていただくんですね。それを使いながら動いていくということで、やっぱり遊び感覚というのを入れると、見ていただくし、お金も落とさせていただけるしということでもいいのかなという。やっぱり楽しくやらないと、皆さん、来ないと思うので、楽しんで、まちをもう一回再発見をしていただいて、ここにこんな道路があるよみたいなの、ここに道があったんだというのも、市内の人でも分からない道がいっぱいあると思うので、駅の向こう側の近鉄じゃなくて名鉄か、踏切を渡ったところ、あれって何商店街というんですかね。</p>
今井委員	銀座です。
東嶋委員	銀座通り。そういうところが期間限定でいいので、そこを使って商店街みたいなのができてお店が並ぶと楽しいなって思うんですけど。
入江委員	期間限定というのが、ハードルは低そうですね。
東嶋委員	どうやってやったらいいかが、そこまで分からないんですけど、この期間だけ商店街をつくるので参加しませんかって集めるのかなと。それこそ今井さんのほうが詳しいから、分からないですけど。
今井委員	何かいろいろ考えます。
東嶋委員	そうすると、要は、やっている方たちにもいいんですけど、市民にとっても楽しい場所になるので、楽しんで、また、町並みを知るというか、それがどこにどんな道があるか分かっているのは、防災にも防犯にも全部つながるので。
入江委員	まちを知る。なるほど。
東嶋委員	多少つながると思っています。なので、そういう形で、イベントでいいので、みんな、自分のまちを知るほうがいいかなと思っています。
入江委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>手嶋委員、お願いいたします。</p>

手嶋委員	<p>まちづくりということを考えた場合に、基本になるのは人なんですよね。人がいかに積極的にまちづくりに関わってくれるのかというところが、そこが一番肝心なので、弥富市さんの場合、これまであまりそういうまちづくりということに興味、関心を持って積極的に、あるいは主体的に活動してくれる人材というのはあまりいなかったような印象を受けているんですけども。</p> <p>今回、ヤトミーティングですか、1つのきっかけとして、そういうまちづくり活動の団体が動き始めてきて、こういう人たちがさらにいろんな団体と連携をして、弥富のまちをもっとよくしていこうという形で少しずつ浸透していけば、かなり住みやすいまちになっていくのかなと。また、そういうことに関わって行って、楽しい日常生活、暮らせるというような、そういうまちになっていくのかなという気がするので、そういう意味でも、これから、東嶋さんや、それから今井さんのような地元に着した活動を、これからさらに展開してくれる人たちの今後に期待したいと思っていますところです。</p>
入江委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、今井委員、お願いいたします。</p>
今井委員	<p>それこそヤトミーティングなんですけど、いろいろ、私たち市民と行政の方と、あと、中にコンサルの会社の方がいらっしゃるんですけど、なかなかうまく進まないというか。そりゃ、皆さん忙しいし、それぞれが仕事をされている中でやっていく活動なので、それは本当にしょうがないなというのはあるんですけど。</p> <p>それでも、みんながみんな同じ思いじゃないんですよね。弥富市をよくしたいという夢はあるんですけど、その道がそれぞれ違って、私はどっちかという、にぎわうとかつながるとか、そういうのを重視したいなって思うんですけど、中には福祉を大事にしたい。今困っている人が目の前にいるでしょうみたいな、そこに対して力を入れるべきじゃないとか、そういうのもいろいろ意見があって、なかなかうまく進まないということも今年度はあったんですけど。</p> <p>その中でも今、マッチング事業に対しての制度づくりを今年度やっていて、来年度から、また、いろんな人とか資源とかを発掘するという段階に来るんですけど。そこも、どういうふうにやっていけばいいのかというの、いろいろ考えながら行っているところです。</p> <p>東嶋さんがおっしゃっていた今日だけ商店街マルシェ、すごいいいなと思って、銀座商店街とか前ヶ須商店街でも、何店舗か商店をされている方、いらっしゃるんですけど、横のつながりがあまりないのかなという感じがして、そういう方もヤトミーティングの存在を知っていただく1つの手段としてマルシェを開催するとかもありだなと今思いました。</p> <p>ちょっとショックだったのが、市民アンケートの市民に対する評価の重要度の、重要でない項目にコミュニティの強化というのが入っていたんですね。弥富市の人って、そんなに人とつながるってあんまり重要視していないのかなって思っちゃって。結構、人見知り</p>

な方が多いんですよ。個々で動くというか、あまり人に頼らないとか、そういう感じの印象がすごい強くて。

でも、そうなると、実際、災害が起きたときに誰も助けられないし、そういうつながりが薄かったら、あそこに誰が住んでいてというのも把握できていない、今の現状だと思うんですよ。なので、もう少し人と人とかがつながることを楽しんでもらえる弥富市にしなければなと思いました。

以上です。

入江委員

ありがとうございます。

多分、3時10分ぐらいから全体共有でよかったかなと思うので、今、ざっと言っていたのを、幾つか私がキーワード、これがつながっているんじゃないかというようなキーワードを少しお話ししたいと思うんですけど、いや、それ違うよって、そういう意味で言っていないよというのがあったら、御指摘いただきたいなと思います。

まず、生活環境のところかというと、皆さん、具体的なイメージをどう持ってもらおうのかということがすごく重要じゃないかというお話、御意見が多かったと思うんですね。海拔ゼロメートル地帯ということについてですけれども、楽しんでイベント的に知ったほうがいいんじゃないかという御意見がありましたし、災害に弱い場所は住居として選ばれないから、それをどうやって克服をしていくのか、それをどういうふうに関心とケアをしているということを知らせていくのかというようなことも含め、だから、より身近に自分事にしていただくということですよ。そういうことが皆様からの御意見として多かったかなと思います。

それから、産業と雇用のところで言いますと、まちなか交流館はすごくいいけれども、そのほかにももう少しインパクトの強いような施設か場所かをつくれなにかという。せっかく産業として非常に強い、全国の中でも強い金魚とか文鳥とかというものがあるのに、活かしきれていないのではないかというようなことですよ。その中で、意欲のある人を支援できるような仕組みがあればいいんじゃないかということが御意見としてあったかなと思います。

それから、まちなか交流館にしても、もう少し動線をつくって、展示だけでなく線とか面とかで広く活用してもらえるようなPR、あるいは小学校でも使えるようなというような御意見もあったと思いますし、あと、私がすごくいいキーワードだなと思ったんですけど、若い人を応援できるまちづくりって、今井委員がおっしゃったんですけど、すごく、それってオンリーワンとしても響くんじゃないかなというふうに思いますね。

それから、その次は都市基盤のところですけど、都市基盤では、競馬場がせっかく誘致をできたのに、周辺として、これも面として何か展開できないかという御意見を非常に強く持っていらっしゃるということと、私も今、駅周辺の再開発ができるのであれば、南北をつなぐということですけど、どういうまちの形にしていくのかということ念頭にインフラ整備をしていく必要があるんじゃないかというふうにおっしゃって、ちぐはぐなことになるといけないとおっしゃったんですけど、それは、まさにそういうイメージを行

政だけじゃなくて市民も共にイメージが共有できて、こういうまちになっていったらいなというような中でのインフラ整備とかが進むと理想的なんじゃないかなと思ってお聞きしていました。

あとは、公園の在り方ですね。緑地整備というところで、公園管理については、どういうふうにするのかというのは、市町によって違うところがたくさんあるんですけど、例えば、思い切って市のほうで予算が出せないから地域で管理してくださいというところもあるんですけど、そういったことで実際に回らなくなっちゃってとか、管理しにくいから、お手洗いをなくしましょうみたいなのも最近出てきたりしているんですけど。まだ、弥富市さんは、業者さんが入っていらっしゃるということですので、それを市民と、例えば、もう少し市民の公園にするにはどうすればいいのかなというところも、問題意識にあるのかなと思いました。

それから、最後の協働・行財政ですけれども、今日だけ商店街マルシェとか、駅前のマルシェとかということに御意見をたくさんいただきましたけれども、期間限定でもいいから、業者さんが単にやるということじゃなくて、市民もそこにうまく参加して、楽しんでみんなでまちを知れたりとか、横のつながりができたりという、そういう商業的な意味だけじゃないようなイベントとしてできればいいんじゃないかという御意見でしたよね。

その中で出てきたキーワードとしては、楽しくやるとか、楽しんでまちを再発見するとか、そういったまちを知ると、防災、防犯にもつながっていくんじゃないかとかというようなキーワードが出てきたかと思います。

手嶋委員も、人がいかに積極的に関わることというふうにおっしゃいましたけれども、これは、私、個人的に思うところ、全く共通でして、これからの人口減少が進む中で、どうやってまちをつくっていくかということを考えたときに、当然、ダウンサイジングしていくしかないんですけども、それを単にダウンサイズするだけだと、コンパクトにすれば済むのかという話でもないと思っていて、例えば、公共施設にしても統廃合が必要になってくる場面も出てきますし、そうすると、不利益配分をお願いしなければいけない。そうすると、なかなか将来的に先を見越してといっても、あまりバラ色のものは描けないんじゃないかなと思っちゃうんですけども。これはすみません、個人の想いですけど、方向性として残されたところはどこかなと思うと、やっぱり人なんですよ。そこに人がいかに暮らしやすく、自分らしく暮らせるか、日々の横のつながりも含めですね。そういった自分の関わるまちづくりというのができる、そういう市民がたくさんいらっしゃるところというのは、すごくこれから本当に強いというか、オンリーワンになっていくんじゃないかなと思っているんですけども。人という部分しか、部分しかというところであれですけど、すごく重要な要素だなと思っていて、まさに想いとして私も同じだなと思いつつお聞きしていました。

最後に、今井委員もおっしゃったんですけど、人と人がつながることを楽しんでもらえるような弥富市、これもすごく、今日出てきた中で私の印象に残ったキーワードだったんですけども、こういう人を応援するとか、人のつながりとかというようなところに、

	<p>皆様の想いがたくさん今日出していただけたのかなと思って拝聴していました。こういった感じで取りまとめて共有しようと思いますけど、いかがでしょうか。ありがとうございます。</p> <p>ありがとうございます。たくさん御意見をいただきました。</p> <p>皆さんの中で今日のこの場で、これはよかったな、このキーワードはよかったなみたいな、こういう想い、なるほどみたいなどころはありましたか。あと、多分、二、三分なんですけど。</p>
東嶋委員	やっぱり自分事というのが一番ですね。
入江委員	自分事、そうですね、自分事。 自由に御発言いただいて。
今井委員	私は、リニアがそこを通るんだという。それって、市民の皆さんも気になるころではあると思うんですけど、まだ、その方向が定まってはいいですね。木曾川を越えたら、トンネルが出るんですけど、それが、自分家の下をリニアが、もしかして通るかもしれないと思うと、わくわくもするんですけど、大丈夫かなという。そういうのをちょっと感じたりとかして。静岡があれですよ、OK を出さないと、なかなか進路も決まらないということになっちゃうね。
入江委員	地下というのは確定なんですか。
安藤市長	大深度ですから、40メートルぐらいですね。30メートルから40メートルですね。
今井委員	1つ市長に聞いたかったんですけど、震災のときに高速道路に逃げることができるように、何年前に、どこだったっけ、ネクスコ中日本とかにお願いをしていた。それをニュースで見たことがあるんですけど、あれってやっぱり難しいんですかね。
安藤市長	こちらですと、東名阪の弥富インターから入ってということは、事業者側も駄目だとは言いません。やっぱり自己責任でということをおっしゃるんですけど。
今井委員	最悪、車に乗っているときに避難ってなったら、乗っちゃっても大丈夫。 今、ちょうど補強工事を2年間かけてやっているじゃないですか。そういうのも逆にありがたいなと思ったりして、そこに逃げることもできるのであれば。一番高いのは東名阪の高架のところかなって思ったりして。
安藤市長	弥富市で一番標高の高いところは、一番南です。

今井委員	<p>そうやっておっしゃってましたね。意外と。</p>
安藤市長	<p>6メートル、7メートル、ありますので。</p>
今井委員	<p>でも、みんなそっちに逃げないですよ、海に近いから。 心理的になかなか行かないですよ。選択肢も難しいですよ。標高が高いか低いかというの分からないですし、ただ単にマンションとかに逃げることができるのかとかも、そのマンション、皆さん、OKを出していらっしゃるというけど、賃貸とかってなかなか難しかったりしますもんね。そういうのも、みんなと共有できるといいなって思います。</p>
入江委員	<p>そうですね。そういうときにコミュニティが力を発揮しないと駄目なんですよ。</p>
今井委員	<p>そうですね。</p>
入江委員	<p>ありがとうございます。</p>
<p><意見交換会 終了></p>	
藤井会長	<p>皆様、お時間の中でいろいろな御議論、ありがとうございました。 予定の時間となりましたので、意見交換の時間はこれまでとさせていただきます。本当に絶えず両グループとも、皆様の御意見というのが聞こえてきた意見交換会じゃなかったかなと思います。 それでは、ここからは意見共有といたしまして、各グループで出た意見というところを共有できればと思いますので、グループB、グループAの順番に行いたいと思いますので、まず、入江委員のほうからグループBの意見発表というところをお願いできますでしょうか。</p>
入江委員	<p>ありがとうございます。 では、こちらで出た御意見を御紹介したいと思います。 こちらとしては、基本目標の1、4、5、6について御意見を頂戴しました。 まず、1、生活環境についてですけれども、やはり委員の中からたくさん出ましたのは防災、防犯についてということです。具体的にどこに逃げるのかというようなイメージ、なかなか想像がつかないので、具体的な避難方法とか設備も含め、命の保証ということについて自分事にしていただくことが必要ではないかという御意見がありました。 また、避難訓練等についても、なかなか今のコロナ禍で、子ども会も町内会も活動ができていない中、そういったものが、訓練が自分の中に落ちていないのではないかとということで、方法を考え直す必要があるんじゃないか。例えばイベント的にできないか、ウォーク</p>

ラリー等、そういったものでできないかというような御意見がありました。施設を見る機会等もないので、みんなで確認できればいいんじゃないかということでした。

それから、災害に弱いという海拔ゼロメートルというところは、なかなか住居として選ばれないという、そういった弱みがありますので、外から人に来ていただく。弥富市の未来像の1でも、選び、選ばれるオンリーワンの弥富市とありますけれども、選んでいただくためには、外から来ていただくためには、やはり防災の対策が徹底できているということをうまく周知ができないといけないのではないかと御意見もありました。

例えば、具体的に自分事に想像していただくためには、バーチャル映像等で津波等が来たときに街中がどうなるのかというようなことも、もしそういう映像ができればいいのではないかと御意見もありました。

それから、次に基本目標の4です。産業・雇用のところですけれども、農業の担い手育成ということは引き続き重要であるという御意見、それから観光の面では、まちなか交流館ができたのはすごくいいんですけども、なかなかそこまで足を運ぶ方も少ないので、国道1号線沿いに弥富のPRの場所がつかれないかというような御意見がありました。

例えば、道の駅のようなものにするとか、せっかく文鳥とか金魚とかという、日本の中でも非常にトップクラスのものが財産としてあるのに、活かしきれていないのではないかと御意見もありました。

あと、実際に金魚を見たいと思っても、なかなかそういう場所がないという御意見もありましたし、あと、中小事業者に対しての支援等については、意欲のある人を支援するというような方針がいいのではないかと御意見もありました。

それから、まちなか交流館についても、せっかくできても、駅からの動線がうまくできていないのではないかと御意見もありました。駅に大きな看板があるとか、あるいは道案内がところどころにあるとか、あるいは小学校でも校外学習なんか活用してもらおうというような、もう少し活用する方法があるのではないかと御意見もありました。

あと、商業等に関する御意見の中で、若い人を応援できるまちづくりというのが、これからはすごく求められている、いいのではないかと御意見もありました。

それから、次に、基本目標の5ですけれども、都市基盤のところでは、

市街地整備については、せっかく競馬場が来ても、その周りが農地なので、なかなか利活用が難しいというような、そういった御指摘が市長から御説明いただいたんですけども、やはりもったいないので、点だけではなくて面で、あるいは線で、あるいは面で活用ということの展開を考えられないかというような御意見もありました。あるいは、駅周辺の再開発事業で、高架になったとして南北が繋がると、それは非常にいいんですけども、まちがどういうふうに進んでいくかというようなことを、発展の形のイメージ、念頭に置いてインフラ整備というのが行われたほうが、ちぐはぐにならないのではないかと御意見もありました。

あと、公園の緑地整備についても、なかなか草があまり頻りに刈り取られていないので、誰のための公園になっておられるのかというようなところも、問題として身近に感じるというような御意見もありました。

それから最後に、基本目標の6、協働・行財政のところで御意見を頂戴しましたが、例えばマルシェなどの開催で活性化ということはできないかというような御意見がたくさんありまして、駅前が整備された場合には、駅前広場でキッチンカー等を出していただくですとか、あるいは商店街でも、今は閉まっているところもあるかもしれませんが、今日だけ商店街マルシェというような形で1日限定の、小さな事業者さんとか個人でもやってみたいというような方に出していただいて、その中で、業者さんだけがやるのではなくって市民の方もそこに参加して、遊び感覚で例えば回っていただくとか、そういう中でお金を落としていただくとか、みんながつながりを持って楽しくできるような試みがあるといいのではないかという御意見がありました。

そういう中で、市民がうまく関わる仕組みとして、楽しくまちを再発見するということができると、まちを知ることにもなって、それが、まちを知ると防災、防犯にもつながっていくのではないかということでした。人との協働という中では、人がいかに積極的に関わるかということが重要だという御指摘もありまして、そういった人材を育てるという意味では、ヤトミーティングが機能しているんじゃないかということですが、住みやすいまち、それから楽しく暮らせるまちにしていくのがいいのではないかという御意見もありました。

横のつながりをつくるということでは、市民アンケートの中で、コミュニティの強化ということがあまり重視されていないということが非常にショックだというような御意見もあったんですけれども、やはり防災、防犯のことを考えましても、これからの弥富市としては、人と人がつながることを楽しんでもらえるような弥富市、そういうことが望ましいのではないかという御意見がありました。

こちらからは以上です。

藤井会長

入江委員、ありがとうございました。

様々な御意見が委員の皆様から出たのが感じられたかなと思います。

それでは、グループAのほうの発表を私のほうからさせていただきます。

白板に板書をしていただいたとおりで、基本目標2、3、4、5と順番に議論をさせていただきました。

基本目標の2、子育て・健康・福祉といったところにつきましては、子育ての支援、質の向上ということで、相談のしやすさというところが大事だという話、特に出た意見の中では、子育てで育休の取得のしやすさというところの企業さんの関わりというものの大切さが委員の中から意見としては出ました。

そして、居場所づくりということで、御高齢者の皆様のサロンですとか集まる場の中に、子育て世代のお母さんが集える場ができていくと、多世代での交流というところも出てくるのかなという御意見をいただきました。

そして、ボランティアというところ、市民協働というところにつきましては、いろんな技能とか、葛山委員のほうから御紹介があったんですが、手品というところの1つの特技から、いろんな場所で手品を披露する機会ができてくるという部分では、皆さんがお持ち

の特技といったものを生かしながら、御高齢者の方の生きがいになるかもしれないですし、いろいろ市民が活躍する場、協働の場というところもできてくるのかなという御意見をいただきました。

そして、デマンド交通というところでは、御高齢である方、いろいろ活動したいんだけど、移動の手段というものが1つの鍵になってくるという意味では、いかに、特に免許返納された後ですとか移動するということが確保できていくと、いろんな場所で御活躍ができるのではないかとといった意見もいただきました。

続いて、基本目標3になりますけれども、教育・文化・スポーツというところでは、相談できる体制づくりという中で、今も子供たちのSOSを書く紙、シートといったものがあるという話でしたけれども、今の時代の中で、やはりスマートフォンを持っているお子さんというのが多くいらっしゃるの、相談できる場というところも、紙ではなくてインターネット、スマートフォンの中からアクセスできたほうが、相談のしやすさにつながるんじゃないかという御意見をいただきました。

そして、スポーツというところにつきましては、やはりできる環境の整備というものが非常に大事ではないかというところでした。弥富市の中でも、スポーツで強いクラブというの存在する中で、いかに環境を整えて活躍できる場ができてれば、スポーツの価値という部分で応援するという側面もありますので、弥富から生まれた選手たちを応援する関係というものも大事になってくるのではないかという御意見でした。

そして、そういった環境が整ってれば、スポーツをする人たちが弥富市にもたくさん来て、そこににぎわいが生まれてくるという効果も期待できるのではないかという御意見もいただきました。

そして、学校との関係づくりという中では、先ほどの基本目標2でもありましたとおり、地域の方が活躍できる場というものが学校の中でもできてくればというような御意見でいただいたかなというふうに思います。

そして、基本目標4、産業・雇用ですけれども、この中では、農業、工業といった部分で、1つキーとして出たのはICTの活用という部分で、農業の担い手、後継者の不足と、人手不足といったところの解消の中に、やはりテクノロジーに頼りながら解決していく方法というものが既に見えてきているという中においては、その整備の必要性というものを委員の皆様から御意見をいただきました。

そして、空き農地の活用という部分で、貸農地というように、すぐに新規就農ではなくても、貸農地を使いながら農業に携わっていくということの、新しい人手の創出というところの方法もあるのかなという意見もいただきました。

そして、他の人が気づかない弥富のよさという中では、弥富の中に魅力的なところがないというような話の中では、弥富市に住んでいると気づけない、弥富の外から見たときには気づけるよさというものもたくさんあるんだろうなというふうに思いますので、そういったものをしっかりとアピールしていくというところの大切さという話もありました。

最後は、基本目標5、都市基盤ですけれども、道路の整備というところで、やはり交通

の生活の中での利便性をしっかりと確保できるように整備をしていくことの大切さというところを御意見いただきました。

そして、新しい競馬場ですとか、行きたい場所についても、そこに交通アクセスができるように、バスですとか、そういったものの整備というものを進めていくことが、基本目標2でも出ましたけれども、高齢化していく社会の中で移動の手段というところの大切さを改めて御意見をいただきました。

そして、駅前活用のアピールというところが書いてございますけれども、駅前整備事業の中に、より利便性がよくなる、にぎわいができるという部分を、もっともっと弥富市の中で発信をしていくということが、そこにぎわいをつくるためにも大事じゃないかなという話がございました。

最後、治水の対策の大切さというところで、やはりゼロメートル地帯というところでは、災害が起きたときの対策として、ハードだけではなくてソフトの面という部分で御意見いただきましたのは、楽しく防災を学べるような機会をつくりながら、しっかりと災害が起きたときには対応ができるようにということを、ソフトの面からしっかりと考えていくということが大事ではないかという御意見をいただきました。

グループAのほうからは、そのような意見を委員の皆様からいただきました。

最後、全体を通しての私のコメントというところ、大変僭越ですけれども、改めて各委員の皆様がたくさん御意見をお持ちだというのが、グループの話の中から見えてきたことかなというふうに思います。恐らくグループBもそうだと思いますが、基本目標1個で十分60分間、話ができるぐらい、いろんな御意見が委員の皆様からいただけたなと思います。

この御意見を全て改正骨子の中に組み込んでいけるかというところは、これから考えていかなくちゃいけないことかなとは思いますが、冒頭に話しましたとおり、皆さんでつくる総合計画ということですので、この意見をしっかりと参考にさせていただきながら改正骨子をどうつくっていくかということを考え、次回の改正骨子案の提案提出と、皆さんの改めての御意見をいただくというフェーズに移っていけるといいのかなと思えました。改めて、両グループ、たくさん御意見をいただきました委員の皆様、ありがとうございました。

では、これで次第の4、意見交換は終了とさせていただきます。

藤井先生、すみません。ごめんなさい、一言だけ申し上げてよろしいですか。すみません、すぐ終わります。

こちらのグループで意見交換をさせていただいた中で、すごく私がすばらしいなと思ったことが、こういう意見交換をするとマイナス的なことをふだんの生活の中から、こういうところできていないよとかというような御意見が出るのも必定かなと思ったんですけれども、出てきたキーワードの中では、若い人を応援するとか人と人がつながることとか、それを楽しむとかというような、すごく前向きなキーワードが幾つも出てきたんで

入江委員

藤井会長	<p>すね。それが本当に素晴らしいなと思っていて、お集まりいただいた委員の皆様方ということもあると思うんですけれども、一般の市民の方々も含め、弥富をこうしたいという、こういうまちにしたいという中で、すごく前向きな御意見、感覚を持ちだなということをぜひ行政の皆様方にもお分かりいただきたいなということだけお伝えしたいと思いました。</p> <p>すみません。ありがとうございます。</p> <p>入江委員、ありがとうございました。それはグループAも一緒でした。委員の皆様の御意見というものが、本当に弥富市をよくしようという協働の意見といえますか、皆さんができることというものを含めてたくさん御意見をいただいたなと思いますので、まさにみんなでつくる未来計画というものにふさわしい皆さんの御意見がいただけたかなと思っています。</p> <p>すみません。ありがとうございます。</p> <p>それでは、続きまして、次第の5、その他について、事務局のほうから御説明をお願いいたします。</p>
事務局（伊藤）	<p>それでは、その他としまして、次回の御案内をさせていただきます。</p> <p>第4回の弥富市総合計画審議会につきましては、5月22日、月曜日、午後1時30分より開催いたします。5月22日、月曜日、午後1時30分より開催いたします。</p> <p>繰り返しの御案内となりますが、今回の意見交換を踏まえた改正骨子案の修正版をお示しする予定でおります。正式な開催通知につきましては、改めてお送りさせていただきます。</p> <p>事務局からは以上となります。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>少しお時間が迫っておりますけれども、全体を通しまして何か御質問等がございましたら、委員の皆様からお願いいたします。よろしかったですか。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、進行を事務局のほうにお戻しさせていただきますので、よろしく願いいたします。</p>
事務局（伊藤企画政策課長）	<p>藤井会長をはじめ、委員の皆様方、本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。本日は、このような、いつもとは異なるワーク形式の審議会ということで、多くの御意見を出していただきまして、大変有意義であったと感じております。今回は、担当部長だけでなく担当課も拝聴させていただきまして、審議会委員の皆様生の声を聞くことができたこと、感謝いたします。</p> <p>先ほど、藤井会長もおっしゃいましたが、本日出されました意見につきましては、事務局のほうで整理をいたします。その後、それぞれの担当課へ確認をさせていただきます。</p>

て、現行の骨子案を修正してまいります。そして、次回の第4回審議会におきまして、再度、皆様方に御提示をさせていただきます。御審議いただく予定であります。

審議会のほうは以上でございますが、総合戦略推進会議の御案内をさせていただきます。

総合戦略推進委員会を兼ねていらっしゃる皆様におかれましては、先ほどアナウンスさせていただきました5月22日、月曜日、午後1時30分開始の総合計画審議会に引き続きまして、午後4時から開催させていただきたく存じます。こちらも後日、通知のほうをさせていただきますが、御予定のほう、何とぞよろしくお願ひしたいと思います。

以上をもちまして、第3回弥富市総合計画審議会を閉会させていただきます。

委員の皆様方、大変ありがとうございました。お疲れさまでございました。